

# KYUSHU **M**agical ENDURANCE GAME



# マシナ耐久

## 参加のしおり&ルールブック

開催日 2022年7月17日(日)

**AUTOPOLIS**  
INTERNATIONAL  
RACING COURSE

# 2022 KYUSHU Magical ENDURANCE GAME ～マジ耐～

## 目次

は・じ・め・に.....	4
イベントの簡単な概要！ 楽しみ方！！.....	5
★イベント当日までの簡単な流れ★.....	6
★マジ耐専用フラッグ★.....	8
★場内図★.....	9
★コース図★.....	10
<b>★参加のしおり★</b>	
1. 開催日程.....	11
2. 開催コース.....	11
3. 参加料金.....	11
4. イベント当日のスケジュール.....	11
5. 参加資格.....	12
6. ドライバーの参加条件-1(必要ライセンス).....	12
7. ドライバーの参加条件-2(マジ耐講習会の参加).....	12
イベントならではの特別ルール.....	13
8. 申込み方法・期間.....	15
9. ゼッケンの数字について.....	16
10. ピットクルーについて.....	16
11. チーム監督について.....	16
12. 参加受理、参加拒否.....	16
13. キャンセル規定.....	16
14. 装備品.....	17
15. 参加受付.....	24
16. 車両検査・装備品検査.....	25
17. ブリーフィング.....	25
18. 基本的な注意事項.....	26
19. サーキットでの注意事項.....	26
20. 走行中の注意事項.....	27
21. コースアウトした場合.....	27
22. 車両トラブルが起きた場合.....	27
23. 決勝イベント中の車両回収(救済措置).....	27



★マジ耐ルールブック★

第 1 条	各種手数料(税込).....	28
第 2 条	クレデンシャルパス・車両通行証.....	28
第 3 条	車両搭載カメラ(車載カメラ).....	28
第 4 条	トランスポンダー(自動車番読取装置).....	28
第 5 条	装備品.....	29
第 6 条	燃料規定.....	29
第 7 条	ブリーフィング.....	29
第 8 条	妨害行為.....	29
第 9 条	救済措置.....	29
第 10 条	リペアエリア.....	29
第 11 条	ピットレーン.....	29
第 12 条	ピットインおよびピットアウト.....	30
第 13 条	ピットサインエリア.....	30
第 14 条	無線機の使用.....	30
第 15 条	ピットの使用について.....	30
第 16 条	ピット作業.....	31
第 17 条	ピット滞在時間および腕章装着義務.....	31
第 18 条	出走義務.....	31
第 19 条	燃料給油について.....	32
第 20 条	決勝イベントスタート進行.....	32
第 21 条	スタート遅延.....	33
第 22 条	セーフティカー.....	33
第 23 条	決勝イベントの中断.....	33
第 24 条	決勝イベントの再開.....	33
第 25 条	決勝イベントの終了.....	34
第 26 条	順位認定.....	34
第 27 条	イベント終了後の流れ.....	35
第 28 条	ペナルティ.....	35
第 29 条	抗議.....	35
第 30 条	公式通知の発行.....	35
第 31 条	ブルテンの発行.....	35
第 32 条	イベント中止時の返金.....	35



★車両ルール★

第1条	定義.....	36
第2条	材料規制.....	36
第3条	車両規則.....	36
第4条	車体と寸法.....	37
第5条	最低重量.....	37
第6条	駆動.....	37
第7条	ギアボックス.....	37
第8条	後退ギア.....	37
第9条	運転席.....	37
第10条	ホイール.....	37
第11条	タイヤ.....	37
第12条	競技車両番号(ゼッケン).....	38
第13条	サスペンション.....	38
第14条	制動装置.....	38
第15条	赤色警告灯.....	38
第16条	燃料パイプ、タンク、ケーブルおよび電気装置.....	38
第17条	車体.....	38
第18条	安全装置.....	39
第19条	データロガー搭載およびデータの開示.....	41
●	保険について.....	41



# は・じ・め・に

このイベントは、「VITA」を使って、サーキットを楽しむためのイベントです！

耐久レースの形式はとっていますが、ただ勝敗を競うのではなく、サーキットを楽しみたい！レースごっこをしたい！みんなで集まって盛り上がりたい！そんな皆さんと一緒に、「サーキット」「VITA」を使って楽しく遊ぼう！をテーマにして開催いたします。

VITA は、本格的なレーシングカーでありながら、サーキット走行経験がある方なら誰でも扱いやすい車両特性・パワー感の車両です。また、レーシングカーの中では比較的低コストで走行できるのも魅力の一つです。

そんなマシンで、沢山の人がイコールコンディションの中で、技術向上やレースの楽しみを感じていただきながら、純粋にクルマを操る楽しさを感じていただけるようなイベントを目指します。

また、あくまで「盛り上がるイベント」を重視し、勝敗ではない所にスポットが当たるような特別賞、特別ルールを設け、いわゆる“速い人が勝つ！”ではないコンセプトのイベント作りを目指します。

参加する皆さんが安全に安心してイベントを楽しめるよう、参加資格に応じた走行義務を設けたり、講習会や練習会も実施いたします。

これまでにはない、新しいサーキットでの楽しみ方！を目指し、皆様と一緒に成長するイベントを目指します。

是非、友人、家族、会社メンバーなど、多数のお仲間をお誘いあわせの上、お楽しみください。

**「新しいサーキットの楽しみの扉は用意されました。その扉を開くのはあなたです！」**

KYUSHU Magical ENDURANCE GAME(マジ耐)イベント実行委員会



# イベントの簡単な概要！ 楽しみ方！！

★「KYUSHU Magical ENDURANCE GAME」は、VITA を使って楽しむ耐久イベントです。「速さ」に関係なく、上位フィニッシュできるチャンスがある独特のルールを採用しております。あまり目を尖がらせず、気の合った仲間と5時間をエンジョイし、仲間とみんなでチェッカーの瞬間を楽しみましょう！



## ●運も実力のうち？

このイベントは「予選」がありません。スターティンググリッドは抽選で決定します。誰にもポールポジションを獲得するチャンスがあるのです！！



## ●特別ルール

◎耐久と言え、給油です！給油する場合、7分間はピットアウトできないルールになっています。慌てずゆっくり落ち着いて行いましょう！



## ◎沢山の賞が用意されているぞ！

イベント名にもあるように、このイベントでは1位・2位といった賞ではなく、上位フィニッシュチームには金・銀・銅色メダルが授与されます。また、順位以外にも沢山の賞が用意されています。例えば、ベストマシン賞(車両のカラーリングデザイン)や、ベストユニフォーム賞、平均年齢最高齢チーム賞や、きりの良い数字をもじったぴったり賞など、多数の賞典をご用意いたします。

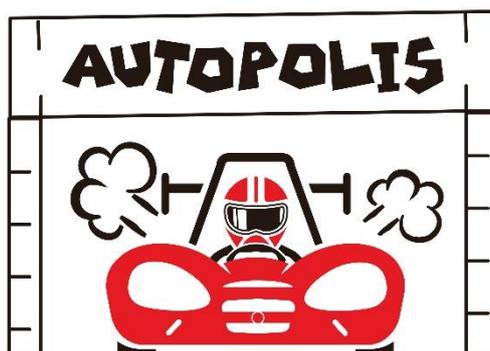


## ●チーム戦略を立てて楽しもう。

チーム編成時から戦略が変わります！チーム編成によって変わる給油でストップする時間、ドライバーの経験・走行順番など、5時間後にどの方法を取れば良い結果となるのかの戦略を立てるのも耐久の楽しみ！

## ●耐久の醍醐味

やはり、耐久の醍醐味は、予想もつかない5時間後のチェッカー受ける瞬間ですよね！それまでの練習の成果や、事前に立てた戦略がどこまで予定通りに行くか？大抵の場合、5時間の間に予想もしないトラブルが起き、それをチーム一丸となって対応し、5時間後のチェッカーを受けた時の感動は、順位ではありませんよね！それぞれのチームなりのドラマがあると思います。それを参加者全員で称えあい、また来年に向け1年準備をする。参加する皆さんとこのイベントを年々成長させていき、モータースポーツの楽しみを広げ、皆様の笑顔を毎年見られことを祈っております。





## ★イベント当日までの簡単な流れ★

1. マシンの用意  
⇒持っている人は仲間を見つける。持っていない方は持っている人を見つけるか、車両を購入する！
2. 仲間を見つけよう！  
⇒ドライバーは2名～5名、ピットクルーは計10名まで！沢山の仲間がいれば楽しいし、コストも割安に！！
3. 参加申込みをする。  
⇒申込み期間が決まっているので、忘れずに！！早くエントリーしたらいいことあるかも？？♡
4. 参加条件の確認  
⇒参加する方のライセンスや経験などでクリアする条件が変わってきます！！サーキットライセンスや走行実績をクリアするための計画を立てましょう！  
⇒装備品などもチェック、ヘルメットやグローブなどイベント参加の条件をクリアしているか要確認！！
5. チーム員で戦略会議  
⇒登録ドライバーの条件によって、ピット滞在時間が変わってきます。走行する順番や、何周走ったらドライバー交代するかなど、みんなで知恵を絞って戦略を立てましょう！ルールブックも良く読んでおこう！！
6. イベント前に沢山練習しましょう！  
⇒沢山走ってマシンの特性をつかみましょう！また燃費がどれくらいなのか？は最も重要です。万一ガス切れ！になってしまうと、順位が落ちるばかりか、なかなか回収されないこともありますし、コース上などで止まってしまうと大変危険です！特に燃費はしっかりと把握する事と、ガス欠になる前に必ず“給油”を忘れずに！！
7. イベントウィーク  
⇒忘れ物がないか？十分なチェックをしてから時間に余裕を持ってサーキットに向かいましょう！！  
参加受理書が送られて来ますので、内容物をしっかり確認！チーム員全員に情報共有や入場パスの事前分配などチーム員全員で指差し確認するくらいの準備しておこう！
8. サーキット到着  
⇒サーキットに着いたら、指定のピットで準備と、指定の時間に参加受付・車検を受けましょう！  
ここでも、それぞれ必要な物を忘れずに！！
9. みんな仲良く  
⇒沢山の人があります！（たぶん…）知らないチームでも同じ楽しみをもって集まった仲間です！パドック内やピット内など、譲り合いの精神で周りに迷惑をかけないように仲良くイベントを楽しみましょう！
10. グリッド抽選  
⇒イベントスタート時のグリッドは抽選です！そう誰にでもポールポジションのチャンスがあります！チーム内で一番運が強い人にお願ひしましょう！でもその結果でその人を責めないでね！
11. イベントスタート  
⇒長い耐久イベントです。グリッド位置は気にせず落ち着いてスタートし、5時間後のチェッカー目指して頑張りましょう！！あくまで順位は時の運！5時間の間に起きる予想もしない出来事を楽しみ、チーム全員が一丸となってチェッカーを迎える！その瞬間を目指して思いっきり楽しみましょう！
12. 表彰式  
⇒イベントならではの沢山の特別賞を設けます。周りのチームを称え合い、参加者全員で盛り上がり、全員でハイタッチして地元へ帰る！そんなイベントにしましょう！

13. 帰路

⇒家に帰るまでが「マジ耐」です。 疲れたら休む！ 無理はしない！ で安全にゆっくり帰りましょう！

14. 最後に

⇒次の日から、来年の計画を立てましょう！ そう、来年もより沢山の方で参加するよう次の日から準備開始です。必ず来年もエントリーすることを固く心に誓いましょう！



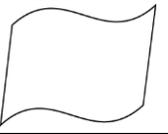
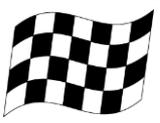
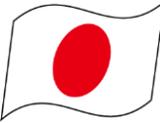
楽しみ方は、チームや人によってそれぞれです。

自分たちなりに決めた目標と5時間後のチェッカーを目指し、目一杯楽しんでください。

我々スタッフ一同も皆さんと一緒に楽しみながら、このイベントを育ててまいります。



# ★マジ耐専用フラッグ★

信号旗(フラッグ)	意味	とるべき行動とケース			
黄旗(イエローフラッグ)			オレンジディスク + ゼッケン		
	危険箇所あり	<b>減速・追越禁止</b> 提示ポストの先のコース脇、あるいはコースの一部に危険な箇所がある。		車両に機械的な欠陥がある	提示されたゼッケンの車両は、旗を確認した周回でピットインする。液体漏れなどがある場合は、グリーン奥の安全な場所に停止する。
	より危険な状態	<b>大幅に減速・追越禁止・停止準備</b> 提示ポスト先のコースを全面的、部分的に塞がれているような危険な箇所がある。コースやコース脇でオフィシャルが作業中である。		ルール、マナー違反をしている	提示されたゼッケンの車両は、旗を確認した周回でピットインし、オフィシャルの指示に従って停止。
緑旗(グリーンフラッグ)			ペナルティボード(ドライブスルーペナルティ)		
	コースクリア(走行可能)	<b>黄旗解除の確認・ポスト位置の確認</b> 黄旗表示が必要になった事故現場の直後のポストで振られる。練習走行1周目に各ポストで提示される。		ペナルティ指示	ボードに提示されたゼッケンの車両は、速やかにピットインし、ピットレーン通過する。この際、ピットに停止してはいけません。
赤旗(レッドフラッグ)			ペナルティボード(ペナルティストップ)		
	走行一時中断	<b>減速・追越禁止・停止準備</b> 練習走行時は、各自のピットへ戻る。決勝イベント時は、赤旗ラインへ戻る。		ペナルティ指示	ボードに提示されたゼッケンの車両は、速やかにピットインし、ピットレーンエンドのペナルティストップエリアに停止。この際、ピットに停止してはいけません。
白旗(ホワイトフラッグ)			チェッカー		
	前方低速車両あり	<b>走行に注意</b> 前方に低速で走行している車両がいる。		走行終了	<b>減速・追越禁止・次周回でピットイン</b> 走行終了の合図。
オイル旗			日の丸		
	コース上が滑りやすい	<b>走行に注意</b> コース上にオイル、水溜まり、飛散物などがあり路面が滑りやすい状態である。		スタート	走行開始を示す。 ※シグナルの代わりに使用することがある。
青旗(ブルーフラッグ)			<div data-bbox="845 1377 1189 1601" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <b>フラッグの意味は必ず覚えよう！！</b> </div> 		

## ◎信号灯(コーションランプ)

信号灯は主要コーナーに設置されています。黄旗・赤旗・緑旗表示と同じ意味で表示されます。通常は信号灯の表示は行いませんが、雨天や霧などで視界不良のときは表示を行います。



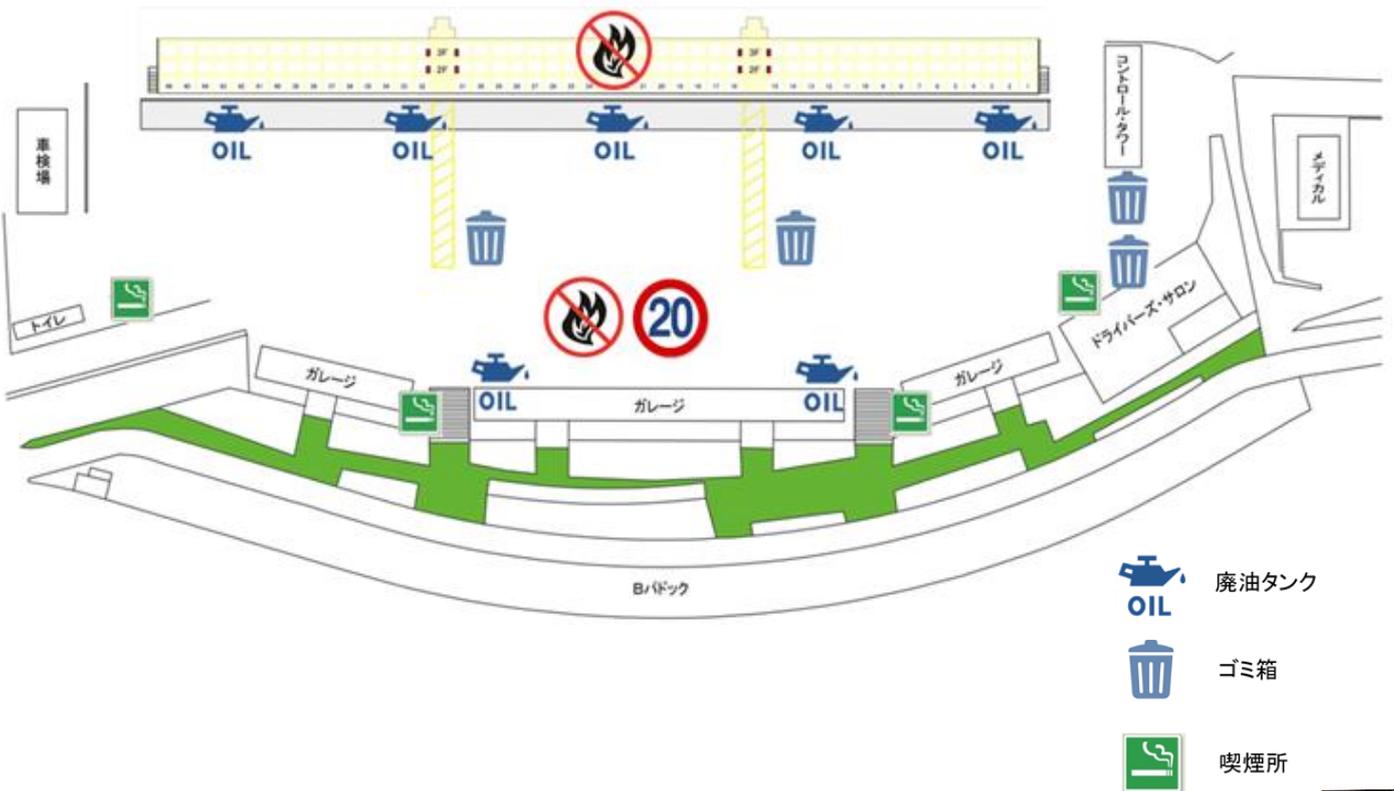
黄 灯	1 灯が点滅の時	黄旗、1本の振動表示
	2 灯が点滅の時	黄旗、2本の振動表示
赤 灯		赤旗表示
緑 灯		緑旗表示

# ★場内図★

# COURSE MAP



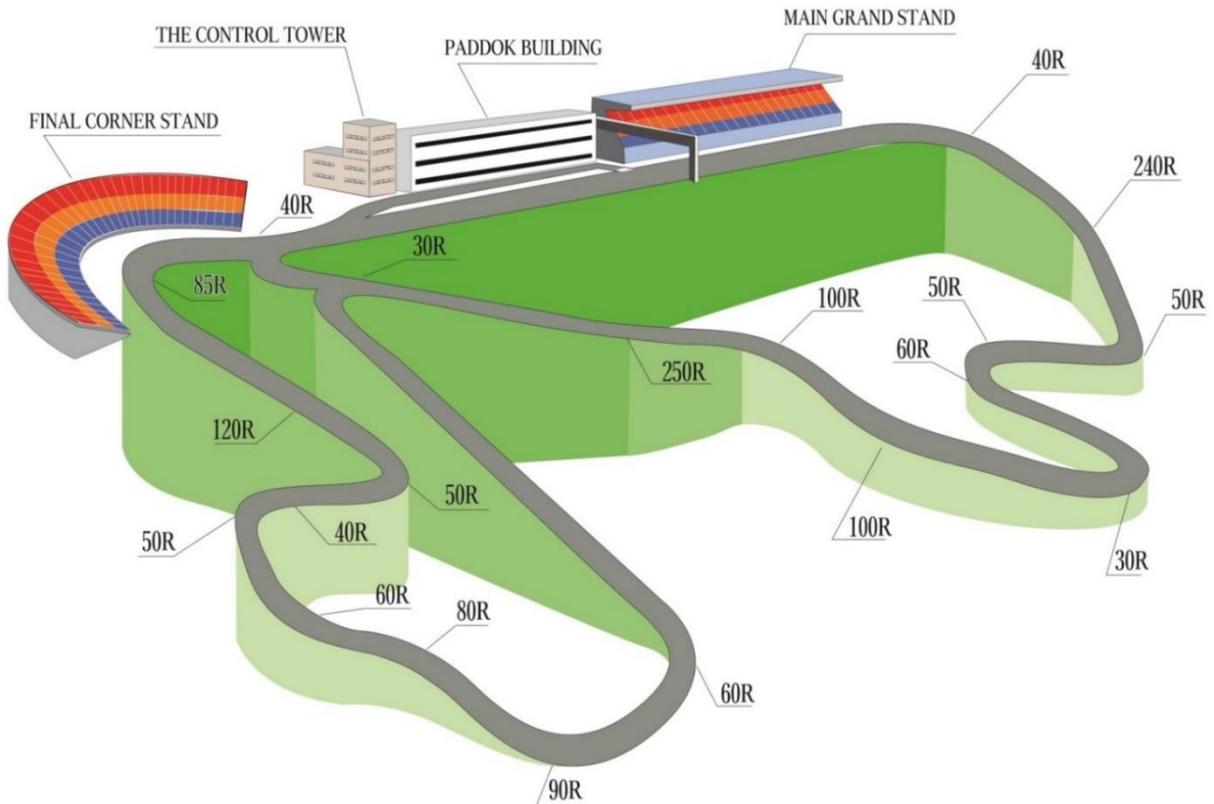
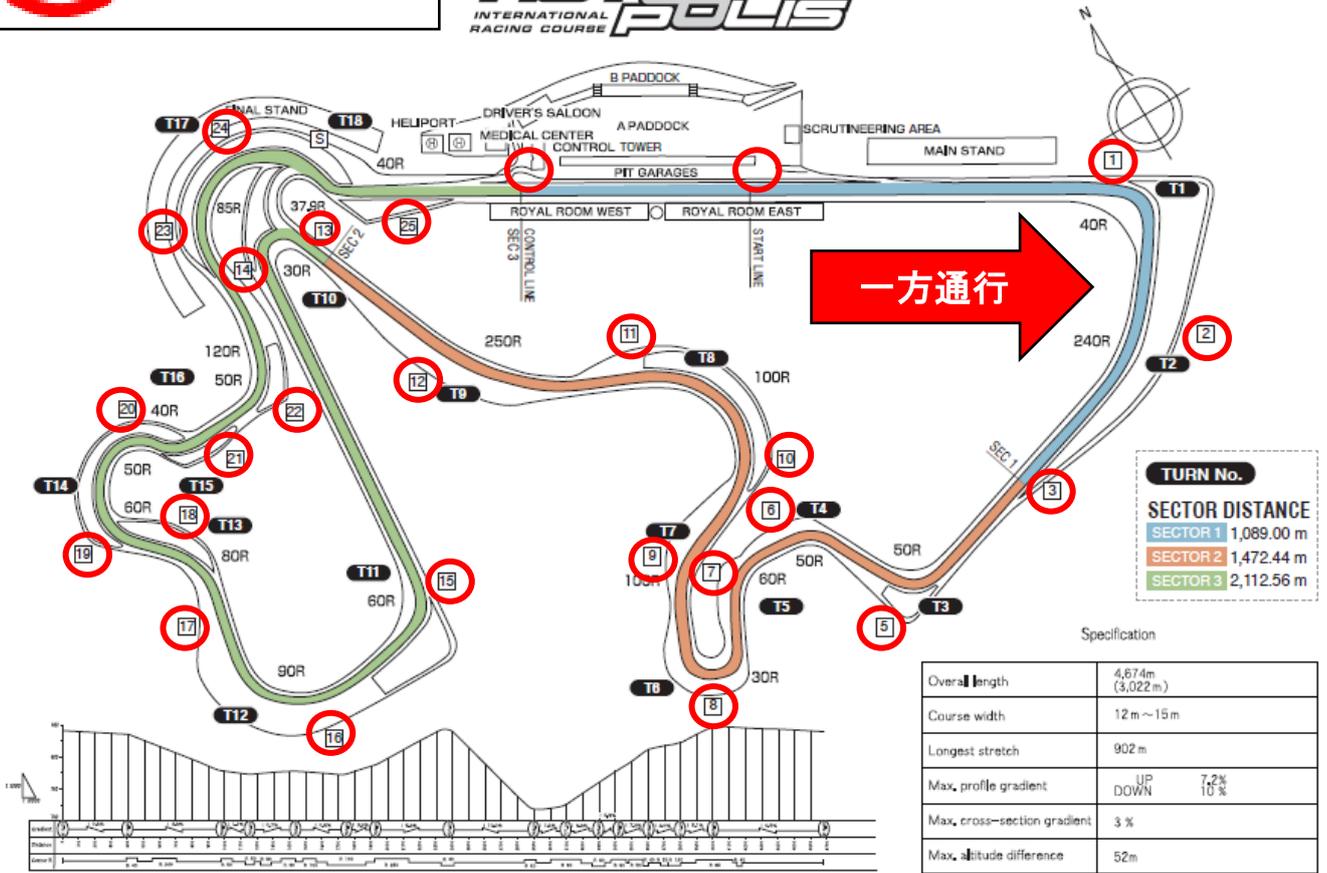
# ★Aパドック図★



# ★コース図★

1 ポストの場所

**AUTOPOLIS**  
INTERNATIONAL RACING COURSE



# ★参加のしおり★



## 1. 開催日程

- (1) ◎イベント開催日：2022年7月17日(日) **5時間耐久イベント！！**  
 日本一、いや、たぶん世界一なが〜〜〜い時間のVITA耐久イベントです。  
**決勝イベントスタート時間は10:00、チェッカー時間は、15:00を予定しております。**
- (2) ◎マジ耐用特別練習枠：2022年5月28日(土) / 6月25日(土) / 7月15日(金)  
**スポーツ走行日に特別走行枠を設定いたします。**  
 暫定オートポリスコースライセンスで走行可能です。(申請料:7,000円、見舞金:500円、ゲストフィー:1,100円)  
**※暫定オートポリスコースライセンスは当日限り有効なライセンスです。暫定オートポリスコースライセンスの詳細につきましてはオートポリスまでお問い合わせください。**

## 2. 開催コース

舞台は、大分県のオートポリスインターナショナルレーシングコースです。阿蘇外輪山の北方、標高800mに位置し、九州の雄大な自然に抱かれた「オートポリス」は、インターナショナルレーシングコースとしてモータースポーツファンから親しまれています。全長4,674mのメインコースは国内有数の規模です。

## 3. 参加料金

- ◎参加料：85,000円 + ドライバー登録料+ピットクルー登録料  
 ◎ドライバー登録料  
 オートポリスライセンス会員:10,000円/名 非会員：17,000円/名  
 ◎ピットクルー登録料:無料(登録可能人数:10名)  
 スポーツ安全保険料はドライバー登録料に含まれ、イベント期間から適用となります。  
 ※参加受理後のご返金は致しかねますのでご了承ください。  
 ※ファン会員の方は、非会員と同料金です。

## 4. イベント当日のスケジュール

◎土曜日には、参加者専用の特別スポーツ走行、参加受付、車両検査・装備品検査を行う予定です。  
 参加受付と車両検査・装備品検査は土曜日に終わらせるのがおススメ！

### ◎想定スケジュール

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
7月16日 SAT		走行券販売	走行前 フリーフィンク	この日走行する方は 参加必須です!!					参加受付	グリッドの抽選		
					特別スポーツ走行			特別スポーツ走行				
7月17日 SUN		参加受付	グリッド決定									
		車検	グリッドの抽選									
		オープニングセレモニー フリーフィンク		スタート走行	KYUSHU Magical ENDURANCE GAME「マジ耐」5時間				表彰式			

※変更になる可能性もありますが、基本的にはこちらのスケジュールで行います。



遠方からのご参加も  
お待ちしております！

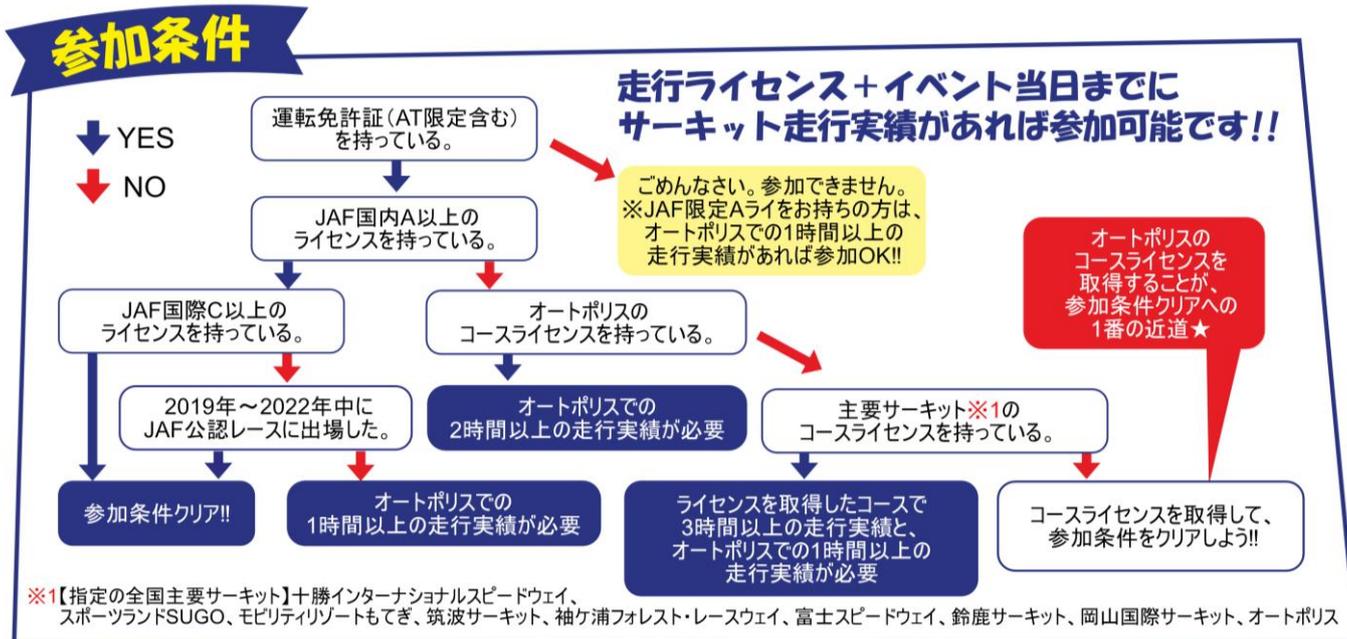


## 5. 参加資格

このイベント主旨に共感し、勝敗にこだわらず、「楽しさ」を追求できる方。

ドライバー、ピットクルー、応援しに来てくれた人全員に必要な参加資格です！

## 6. ドライバーの参加条件-1(必要ライセンス)



### Q. 走行実績とは？何を提出すればいいの？

A. 以下の①or②or③のいずれかで、2021年~2022年内の走行を、走行実績とみなします。提出する書類は、走行実績によって異なります。走行実績は、VITA以外の車両でもOKです!! 2輪の走行はダメよ...

①指定サーキット(十勝インターナショナルスピードウェイ、スポーツランドSUGO、モビリティリゾートもてぎ、筑波サーキット、袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット、岡山国際サーキット、オートポリス)でのスポーツ走行 ※カートコースやショートコースなど、メインコース以外での走行は実績として認められません。

⇒JAF A 級ライセンス取得時に使用する指定の用紙に、走行したサーキットで証明印が押されたものを、提出をしてください。指定の用紙は、マジ耐のホームページからダウンロードできます。

### ②走行会での走行

⇒走行時間が分かるリザルトを提出してください。

### ③JAF 公認サーキットトライアルへの参加

⇒リザルトを提出してください。1回の参加につき、30分の走行実績とみなします。

## 7. ドライバーの参加条件-2(マジ耐講習会の参加)

全員が受講しなければなりません。これも参加条件の1つになります! WEBによる視聴形式の講習会となりますので、必ず期間内に視聴してください。視聴後に受講確認として質問に答えていただき、講習会受講完了となります。

視聴・回答期間:6月20日~7月1日まで

この講習会は、イベントの内容、楽しみ方、安全に関する注意喚起や、プロドライバーによるワンポイントアドバイスなどを行います。

※マジ耐講習会の詳細につきましては別途インフォメーションで公示いたします。

※期日までに視聴・回答できなかった場合、イベントに参加することが出来ません。



## イベントならではの特別ルール



### POINT ①★参加ドライバーによるハンディキャップ★

#### POINT



参加ドライバーによって、チームのピット滞在時間が変わります！チーム内に 1 人でも対象者がいた場合は適用されますので、必ず申告してください。虚偽の申告があった場合には、失格等のペナルティが課せられます。



キングドライバー  
(体重 100kg 以上)  
ピット滞在時間 -2 分



シニアドライバー  
(65 歳以上)  
ピット滞在時間 -2 分



ウーマンドライバー  
(女性)  
ピット滞在時間 -2 分



マジ速ドライバー  
(※1)  
ピット滞在時間 +2 分

※1 マジ速ドライバーは、国際 B ライセンス以上を所持している方に加え、SGT や有名レースの参加ドライバーなど、主催者が速い!!と認定したドライバーです。参加申込受付後に主催者が決定し公示いたします。

#### 注意点

- ・ハンディキャップは燃料給油を伴うピット滞在時間(7 分間)に適用されます。(マジ耐ルールブック第 17 条 2. 参照)
- ・マジ速ドライバーに指定された方が、キング/シニア/女性のいずれかに該当していても、+2 分です。
- ・チーム内に、マジ速ドライバーが複数名いた場合でも、+2 分です。
- ・チーム内に、キング/シニア/ウーマンドライバーが複数名いた場合でも、-2 分です。
- ・滞在時間がマイナスになるドライバーとプラスになるドライバーが混在した場合は、プラスマイナス 0 分です。
- ・国内 A ライセンス以上をお持ちのドライバーはキング/シニア/ウーマンドライバー対象外です。

#### ハンディキャップ例

- ①キングドライバー + ウーマンドライバー + シニアドライバー = 【-2 分】
- ②マジ速ドライバー + マジ速ドライバー + マジ速ドライバー = 【+2 分】
- ③ウーマンドライバー + マジ速ドライバー + シニアドライバー = 【+-0 分】

### POINT ②★決勝イベントのグリッドは、抽選で決定★

#### POINT



決勝イベントのグリッド順は、抽選で決定します！  
誰でもポールポジションが獲得できるチャンス！  
参加受付で抽選を先着順で行います。ワクワクしますね！

POINT ③★た～くさんの賞典をご用意★



マジ耐では、勝敗に関わらずたくさんの賞典をご用意しています。  
速く走るだけが喜びではありません！  
事前に狙える賞もありますので、走行以外でもイベントを楽しめるぞ！！



賞	対象
◎金・銀・銅メダル	周回数が多かった順
◎やる気満々で賞	エントリーが一番早かったチーム
◎Magical ウーマン賞	女性チーム
◎レジェンド賞	チームの平均年齢が最高のチーム
◎ポールポジション賞	ポールポジションのチーム
◎マジ耐ナンバー賞	指定した順位獲得のチーム

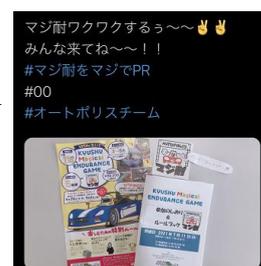
以下の賞典については、FaceBook、Twitter、Instagramでより多くの PR をしていただいたチームが受賞をすることが出来ます。

賞	ハッシュタグ	対象
◎PRしたで賞	#マジ耐をマジでPR	興味を持ちそうな写真
◎Magical デザイン賞	#マジ耐ウチの VITA 見て	マシンの写真
◎Magical チームウェア賞	#マジ耐ウチのウェア見て	チームウェアの写真
◎チーム一丸で賞	#マジ耐ウチのチーム最高かよ	仲良さそうな写真
◎盛り上がりすぎで賞	#マジ耐盛り上がりすぎて草	盛り上がっている写真
◎グローバル賞	#マジ耐ワタシモ参加シテルネ	グローバルを感じる写真

エントリー方法   

イケてる写真や言葉を FaceBook、Twitter、Instagramに投稿していただき、いいね！とリツイートの合算数が多い方に賞をお渡しいたします。投稿する際は、必ず以下の投稿内容と注意事項を必ず確認してください。

- 決められた#ハッシュタグ
- ゼッケン
- チーム名(なるべく)
- イケてるアピール写真(あるといいな)



注意事項

- ・1 ツイートにつき 1 ハッシュタグに限定します。複数の賞にエントリーする場合は、投稿を分けてください。
- ・1 チームにつき、いくつもの投稿をしていただいても構いませんが、1つの賞を受賞したチームは、他の賞は受賞できません。重複した場合は結果 2 番目以降のチームが対象となります。
- ・公序良俗に反する内容や不適切な投稿につきましては、集計対象とはなりません。

投稿の締め切りは、7月17日(日)13:00です。皆様奮ってご参加ください！



## 8. 申込み方法・期間

お申込完了まで、いくつかの手順が必要です。必ずご確認ください。



### STEP 1

#### ①エントリー期間【5月1日(日)～5月31日(火)】

オートポリスのWEBエントリーページより、チーム員1名の情報登録と、基本料金 85,000円(税込)のお支払いをお願いいたします。(お支払い方法は、クレジットカード決済かコンビニ支払です)この時点では、ドライバー全員の情報とピットクルーの情報は不要です。

◆申込み先 URL&QRコード◆

[https://www.ms-event.net/apweb/user/?a=race.race\\_entry\\_list](https://www.ms-event.net/apweb/user/?a=race.race_entry_list)



編成登録を送付する時点で、会員でない場合、  
非会員料金となります。  
編成登録をした後に会員になった場合でも、  
登録料のご返金はできませんので、  
ご注意ください。



### STEP 2

#### ②チーム編成登録【6月18日(土)締め切り】

ご登録いただいたチームに、チーム情報の登録用紙一式を郵送でお送りしますので、締切日までに以下のイベント事務局に必要書類を返送してください。ご返送いただいた後、登録内容をもとにお支払いについて事務局メールにてご連絡いたします。内容をご確認の上お振込みをお願いいたします。(振込手数料はご負担ください)

期間中に編成登録がされていない場合は、11,000円(税込)の遅延手数料をお支払いいただきます。

トランスポンダー(自動車番読取装置)のレンタルが有料となります。(マジ耐ルールブック第4条参照)レンタルをご希望の際は、チーム編成登録時に申請してください。

ドライバーの変更、追加については 6月30日(木)まで可能です。ただし変更する日によって、以下の手数料がかかりますのでご注意ください。

・5月1日(日)～6月18日(土) … 無料

・6月19日(月)～6月30日(木) … ドライバーは、5,000円(税込)／名 ピットクルーは、1,000円(税込)

7月1日(金)以降の変更・追加は、いかなる理由でも一切お受けできません。

変更、追加については、以下のイベント事務局にご連絡をお願いいたします。

◆送付先◆

〒329-0101

栃木県下都賀郡野木町友沼 6601-5 ライディングハート内

KYUSHU Magical ENDURANCE GAME(マジ耐)

エントリー登録事務局

TEL:0280-23-2756 FAX:0280-57-4899

### STEP 3

#### ③正式参加受理書のご送付【7月3日(日)頃】

すべての提出書類が揃いましたら、正式参加受理書、登録人数分のクレデンシャルパス・車両通行証、各種ご案内をお送りいたします。この時点で、正式にお申込が完了いたします。

正式参加受理書の発送は、7月3日(日)頃を予定しております。参加者の方の名簿は、プログラムに掲載いたします。

#### ★エントリーが早い方への特権

参加申込時に希望ゼッケンを伺いますが、同ゼッケンを希望する方がいた場合は、参加申込が早かった方に優先権が与えられます。特に希望ゼッケンがない場合は、主催者が決定いたします。

### 9. ゼッケンの数字について

ゼッケンの数字は、1～999 までの数字を指定してください。また、「01」「001」などの指定はできません。申込の際には、第 4 希望ゼッケンまで入力してください。第 1～第 4 希望までを同じゼッケンにすることはできません。

### 10. ピットクルーについて

ピットクルーは、ピットエリアで車両の作業ができるメカニックのことを表します。10 名まで登録 OK！！最低 1 名は登録してください。満 16 才以上の方のみ登録が可能です。複数のチームのピットクルーとして登録することができますが、ドライバーはピットクルーの登録ができません。

### 11. チーム監督について

チーム内のピットクルーの中から 1 名、チーム監督を決めてください。複数のチームの監督として登録することは可能です。

チーム監督は、そのチーム員の言動・行動すべてに責任を持つ人です。トラブルが生じた場合は、失格、退場等のペナルティを課す場合があります。

### 12. 参加受理、参加拒否

参加拒否された申込者の方には通知をいたします。その場合は、参加料の全額をお返しいたします。

### 13. キャンセル規定

申込後、お客様のご都合でキャンセルされる場合、参加受理前(7 月 3 日)までのキャンセルは、事務手数料の 3000 円(税込)を差し引いてご返金となります。参加受理後のご返金は原則いたしません。



**エントリーはお早めに！**  
**エントリーが早かった方に**  
**ゼッケンの優先権が与えられます！**

## 14. 装備品

ご自身の身の安全を守るため、装備品をしっかりと準備しましょう。

ドライバー、給油マン、消火マンの装備品を必ずご確認ください。装備品については、チーム内で共有しても OK !

～ドライバーの装備品一覧～

装備品	装着の制限	規格
ヘルメット	装着義務	FIA 基準と Snell 基準に合致したもの 8860-2018、8860-2018-ABP、8860-2010、8859-2015、 8858-2002+SA2010、 8858-2010+SA2010、8858-2010+SA2010、8858- 2010+SAH2010
FHR システム(ハンス)	装着義務	FIA 基準 8858-2010、8858-2002
レーシングスーツ	装着義務	FIA 基準 8856-2000、8856-2018
レーシングシューズ	装着義務	FIA 基準 8856-2000、8856-2018
レーシンググローブ	装着義務	FIA 基準 8856-2000、8856-2018
バラクラバ	装着義務	FIA 基準 8856-2000、8856-2018
ソックス	装着を強く推奨	FIA 基準 8856-2000、8856-2018
アンダーウェア	装着を強く推奨	FIA 基準 8856-2000、8856-2018

### ① ヘルメット《義務装備》

◎バイザー付きのフルフェイスヘルメットのみ使用可能です。2 輪用やジェット型のヘルメットは NG です。

◎製造後、10 年を経過したものは使用できません。また、ヘルメットに対して一切の改造、加工をしてはいけません。

◎以下のシールが貼ってあるいずれかのヘルメットを使用してください。(FIA 基準と Snell 基準に合致したヘルメット)

**FIA 8860-2018**



In compliance with:  
**FIA Standard 8860-2018**

Manufacturer Name: Name of Manufacturer

Serial N°: xxx xxx

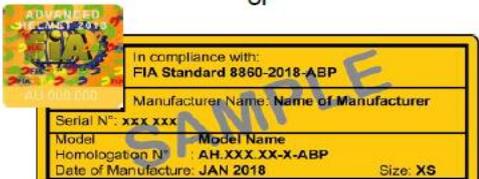
Model: Model Name

Homologation N°: AH.XXX.XX-X

Date of Manufacture: JAN 2018

Size: XS

or



In compliance with:  
**FIA Standard 8860-2018-ABP**

Manufacturer Name: Name of Manufacturer

Serial N°: xxx xxx

Model: Model Name

Homologation N°: AH.XXX.XX-X-ABP

Date of Manufacture: JAN 2018

Size: XS

**FIA 8860-2010**



In compliance with:  
**FIA Standard 8860-2010**

Manufacturer: Manufacturer Company

Model: ENV-D31

Homologation No: AH.XXX.XX-X

Size: 57

Serial No:

or



In compliance with:  
**FIA Standard 8860-2010**

Manufacturer Name: Name of Manufacturer

Serial N°: xxx xxx

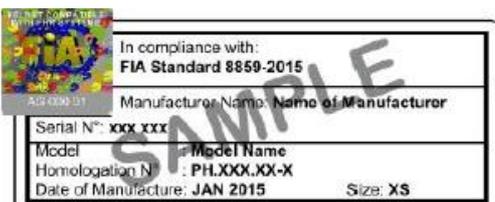
Model: Model Name

Homologation N°: AH.XXX.XX-X

Date of Manufacture: JAN 2013

Size: XS

**FIA 8859-2015**



In compliance with:  
**FIA Standard 8859-2015**

Manufacturer Name: Name of Manufacturer

Serial N°: XXX XXX

Model: Model Name

Homologation N°: PH.XXX.XX-X

Date of Manufacture: JAN 2015

Size: XS

**FIA 8858-2002+SA2010**

(両方のラベルが必要)



+



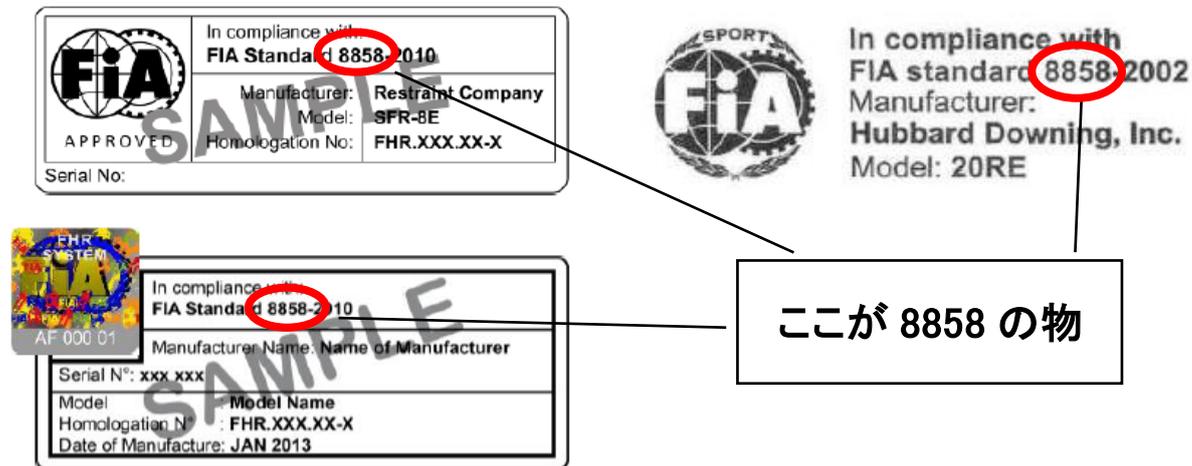
Helmet tether anchorages  
fitted by manufacturer  
in compliance with  
FIA standard 8858-2002



◎ヘルメットに強い衝撃を受けた場合、外観に異常がなくても保護能力が劣化している場合があります。ヘルメット製造者などに安全な状態であるか、事前に判断してもらってから使用してください。

② FHR システム(ハンス)《義務装備》

◎以下のシールが貼ってあるいずれかの FHR システム(ハンス)を使用してください。



◎FHR システム(ハンス)の各アイテムには、組み合わせのルールがあります。以下の表を確認してください。

3.3) F I A 基準8858-2002、8858-2010、8859-2015、8860-2004、8860-2010  
および8860-2018適合品との互換性および許される使用

	FHR 8858-2010	テザー (テザー留め具を含む) 8858-2010	ヘルメット固定点 8858-2010	ヘルメット 8858-2010、 8859-2015、 8860-2010および 8860-2018
HANS 8858-2002	X	YES	YES	YES
テザー (テザー留め具を含む) 8858-2002	NO	X	機械的に互換性 があれば	YES
ヘルメット固定点 8858-2002	YES	機械的に互換性 があれば	X	NO
ヘルメット 8858-2002および 8858-2004	YES	YES	NO	X

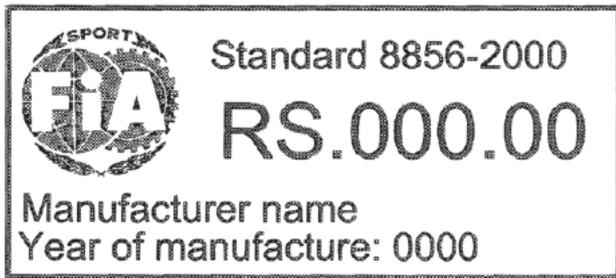
F I A 基準8860-2004 (Advanced Helmets) および F I A 基準8858-2002 (FHR systems and compatible helmets) は2010年に改訂された。上表に示される通りに使用される場合は、改訂前と改訂後の両方とも F I A 基準8859-2015 (Premium Helmet) と並んで有効である。



③ レーシングスーツ(耐火炎レーシングスーツ)《義務装備》

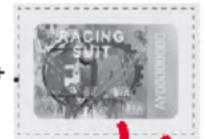
◎以下のシールが貼ってあるいずれかのレーシングスーツまたはリストに記載のある物を使用してください。

FIA基準8856-2000に従ったFIA公認耐火炎レーシングスーツのラベル



(2012年12月31日までのラベル)

FIA基準8856-2018に従ったFIA公認耐火炎レーシングスーツのラベル



(2013年1月1日以降のラベル)

FIA基準8856-2000に従ったJAF公認耐火炎レーシングスーツのリスト

(2020年9月現在)

JAF公認番号	FIA公認番号	型 式	製 造 者 名
JAF-SP-EQ-124-02	RS.036.02	ARD-024 Type SX-DW	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-125-04	RS.079.05	PRO FORMULA (LE-150)	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-126-04	RS.089.05	SUPER PRO (LE-110)	ク
JAF-SP-EQ-129-04	RS.062.04	DES-005	(有)ベ ア
JAF-SP-EQ-131-05	RS.077.04	SUPER PRO (LE-120)	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-132-05	RS.078.04	PRO FORMULA (LE-140)	ク
JAF-SP-EQ-137-05	RS.081.05	ARD-024 Type SX-CD	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-138-05	RS.080.05	ザマンレーシングスーツ (0770)	山田辰(株)
JAF-SP-EQ-139-05	RS.086.05	Firelex F-32N	(株)グループ・エム
JAF-SP-EQ-140-05	RS.090.05	ARD-010 Type FZ-R	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-141-05	RS.091.05	ARD-022 Type ZX-R	ク
JAF-SP-EQ-145-05	RS.093.05	ザマンレーシングスーツ TYPE-II(0742)	山田辰(株)
JAF-SP-EQ-150-05	RS.112.06	JURAN 2000	(株)タニダ
JAF-SP-EQ-174-08	RS.150.08	JURAN RS-03	ク
JAF-SP-EQ-175-08	RS.157.08	ARD-110 CHEVRON X	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-182-09	RS.170.09	THE MAN SPIRIT TYPE-X	山田辰(株)
JAF-SP-EQ-185-11	RS.208.11	Silverstone RACING BROOKLANDS (RSN-100)	(有)アールエーシー
JAF-SP-EQ-186-11	RS.209.11	Silverstone RACING BECHETTS (RSN-200)	ク
JAF-SP-EQ-189-13	RS.239.13	Firelex ZERO-3X	(株)グループ・エム
JAF-SP-EQ-190-13	RS.240.13	コンペティションギヤレーシングスーツ Stage 200	(株)エイチ・ビー・アイ
JAF-SP-EQ-191-13	RS.242.13	コンペティションギヤレーシングスーツ Stage 300	ク
JAF-SP-EQ-192-13	RS.246.13	Silverstone RACING RACING SUIT ABBEY (RSN-300)	(有)アールエーシー
JAF-SP-EQ-193-15	RS.274.15	JURAN Racing Pro5000 a	(株)タニダ
JAF-SP-EQ-194-15	RS.275.15	JURAN Racing Pro6000	ク
JAF-SP-EQ-195-16	RS.283.16	PROGRESS A	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-196-16	RS.291.16	ARD-1000 PROGEAR TYPE-1 Genisys	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-197-16	RS.292.16	ARD-1100 PROGEAR TYPE-SX LT	ク



どのレーシングスーツにしてもよいかな



J A F 公認番号	F I A 公認番号	型 式	製 造 者 名
JAF-SP-EQ-198-16	RS.293.16	ARD-1150 PROGEAR TYPE-TX	〃
JAF-SP-EQ-200-18	RS.338.18	Stage-100	(株)エイチ・ビー・アイ
JAF-SP-EQ-201-18	RS.343.18	JURAN 2000 α	(株)タニダ
JAF-SP-EQ-202-19	RS.348.19	Firelex ZERO-B	(株)グループ・エム

FIA基準8856-2018に従ったJAF公認耐火炎レーシングスーツのリスト

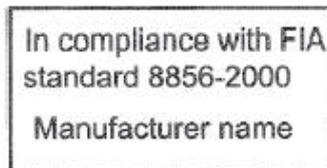
(2020年9月現在)

J A F 公認番号	F I A 公認番号	型 式	製 造 者 名
JAF-SP-EQ-203-20	DC.093.20-0	Stage-500	(株)エイチ・ビー・アイ

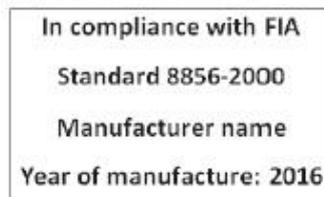
④ レーシングシューズ(耐火炎シューズ)《義務装備》

◎以下のシールが貼ってあるいずれかのレーシングシューズまたはリストに記載のある物を使用してください。

(2015年12月31日までに製造された  
アンダーウェア、バラクラバ、シュー  
ーズに使用されるラベル)

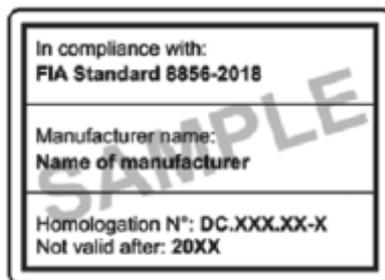


(2016年1月1日以降の新ラベル)



F I A 基準8856-2018 :

耐火炎レーシングシューズ、耐火炎レーシンググローブ、耐火炎バラクラバ、  
耐火炎アンダーウェア、防水ウェア、冷却アンダーウェア



FIA基準8856-2000に従ったJAF公認耐火炎レーシングシューズのリスト

(2020年9月現在)

J A F 公認番号	F I A 認定	型 式	製 造 者 名
JAF-SP-EQ-148-05	認定済	ARD-335	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-149-05	〃	ARD-336	〃
JAF-SP-EQ-159-06	〃	CLA-X MID	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-187-12	〃	Silverstone RACING SHOES BTN-100	(有)アールエーシー

⑤ レーシンググローブ(耐火炎グローブ)《義務装備》

◎以下のシールが貼ってあるいずれかのレーシンググローブまたはリストに記載のある物を使用してください。

(2015年12月31日までに製造されたグローブに使用されるラベル)

In compliance with FIA  
standard 8856-2000  
Manufacturer name

(2016年1月1日以降の新ラベル)

In compliance with FIA  
Standard 8856-2000  
Manufacturer name  
Year of manufacture: 2016

+



FIA Hologram  
on the interior  
of the cuff

**F I A 基準8856-2018 :**

**耐火炎レーシングシューズ、耐火炎レーシンググローブ、耐火炎バラクラバ、  
耐火炎アンダーウェア、防水ウェア、冷却アンダーウェア**

In compliance with:  
FIA Standard 8856-2018

---

Manufacturer name:  
Name of manufacturer

---

Homologation N°: DC.XXX.XX-X  
Not valid after: 20XX

+



**FIA基準8856-2000に従ったJAF公認耐火炎レーシンググローブのリスト**

(2020年9月現在)

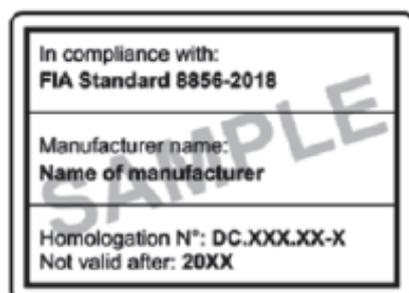
J A F 公認番号	F I A 認定	型 式	製 造 者 名
JAF-SP-EQ-169-06	認定済	CLA PRO2000S	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-170-07	〃	ARD-260 (ProRacer 200X)	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-171-07	〃	ARD-261 (ProRacer 200CL)	〃
JAF-SP-EQ-172-07	〃	ARD-262 (ProRacer 200R)	〃
JAF-SP-EQ-173-08	認定済	0055	山田辰(株)
JAF-SP-EQ-178-08	〃	ARD-270 (ProRacer 300X)	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-179-08	〃	ARD-270D (ProRacer 300DX)	〃
JAF-SP-EQ-180-08	〃	ARD-272 (ProRacer 300R)	〃
JAF-SP-EQ-181-08	〃	ARD-272D (ProRacer 300DR)	〃
JAF-SP-EQ-183-09	〃	JURAN JRG-01	(株)タニダ
JAF-SP-EQ-184-10	〃	Firelex A-1N	(株)グループ・エム
JAF-SP-EQ-188-12	〃	Silverstone RACING GLOVE GLN-100	(有)アールエーシー

⑥ バラクラバ(耐火炎バラクラバ)《義務装備》

◎以下のシールが貼ってあるいずれかのバラクラバまたはリストに記載のある物を使用してください。

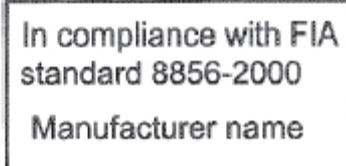
**F I A 基準8856-2018 :**

**耐火炎レーシングシューズ、耐火炎レーシンググローブ、耐火炎バラクラバ、  
耐火炎アンダーウェア、防水ウェア、冷却アンダーウェア**

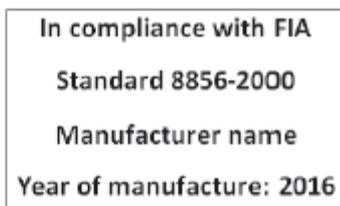


+

(2015年12月31日までに製造されたアンダーウェア、バラクラバ、シューズに使用されるラベル)



(2016年1月1日以降の新ラベル)



+



**FIA基準8856-2000に従ったJAF公認耐火炎バラクラバのリスト**

(2020年9月現在)

J A F 公認番号	F I A 認定	型 式	製 造 者 名
JAF-SP-EQ-133-05	認定済	LE-FM001	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-143-05	〃	ARD-531	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-144-05	〃	ARD-534	〃
JAF-SP-EQ-153-05	〃	JURAN RM001	(株)タニダ
JAF-SP-EQ-155-05	〃	0072	山田辰(株)
JAF-SP-EQ-157-05	〃	LE-FM002	(株)レアーズ
JAF-SP-EQ-158-05	〃	LE-FM003	〃
JAF-SP-EQ-160-06	〃	DES-1001	(有)ベ ア
JAF-SP-EQ-163-06	〃	Firelex FX-TYPE C	(株)グループ・エム
JAF-SP-EQ-166-06	〃	ARD-541 (1穴)	5 Z I G E N インターナショナル(株)
JAF-SP-EQ-167-06	〃	ARD-544 (2穴)	〃

⑦ ソックス(耐火炎ソックス)《強く推奨》

◎以下のシールが貼ってあるいずれかのソックスまたはリストに記載のある物の使用を強く推奨します。

FIA基準8856-2000:

(ソックスに使用されるラベル)

In compliance with FIA  
standard 8856-2000  
Manufacturer name

(2016年1月1日以降の新ラベル)

In compliance with FIA  
Standard 8856-2000  
Manufacturer name  
Year of manufacture: 2016



耐火炎ソックス



⑧ アンダーウェア(耐火炎アンダーウェア)《強く推奨》

◎以下のシールが貼ってあるいずれかのアンダーウェアまたはリストに記載のある物の使用を強く推奨します。

FIA基準8856-2018:

耐火炎レーシングシューズ、耐火炎レーシンググローブ、耐火炎バラクラバ、  
耐火炎アンダーウェア、防水ウェア、冷却アンダーウェア



(2015年12月31日までに製造された  
アンダーウェア、バラクラバ、シュー  
ーズに使用されるラベル)

In compliance with FIA  
standard 8856-2000  
Manufacturer name

(2016年1月1日以降の新ラベル)

In compliance with FIA  
Standard 8856-2000  
Manufacturer name  
Year of manufacture: 2016



FIA 基準8856-2018 :

耐火炎レーシングシューズ、耐火炎レーシンググローブ、耐火炎バラクラバ、  
耐火炎アンダーウェア、防水ウェア、冷却アンダーウェア



### 耐火炎ソックス



### ⑨ 燃料給油マン/消火マンの装備

ピット作業エリアにて給油作業や、消火作業を行う人は、難燃素材(綿 100%など)の服を着用してください。肌が露出するものは禁止です。(レーシングスーツ等が望ましい)グローブを装着し、シールド付きフルフェイスヘルメット又は、バラクラバにゴーグルを装着しなければいけません。ドライバーの装備品のような、規定の物の指定はありません。(ドライバーの装備でも可)



### 15. 参加受付

タイムスケジュールに記載された時間に、参加受付を行いますので必ず時間内に受付をしましょう。参加受付時に提出する書類は、参加受理書に詳しく記載しますので、よく確認してお越しください！！

決勝イベントのスターティンググリッドを決める抽選は、参加受付時に行います。幸運の持ち主が受付に来るべし！



## 16. 車両検査・装備品検査

車両や装備品に不備がないかの確認のため、土曜日または日曜日の車両検査/装備品検査の時間に、車検を受けなければいけません。車検に合格しないと、イベントに参加できません。  
イベント中に不適合が発覚した場合、失格等のペナルティを課せられる場合がありますので、ルールに則った車両作りをしましょう。

☆時間短縮のため、出来るだけ土曜日の予備車検を受けていただくことをおすすめします。

**おすすめ!**

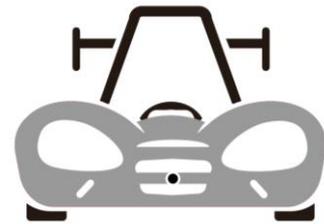
☆キングドライバーとして登録された方は、公式車検時に体重の測定をします。

### 車検時に必要なもの

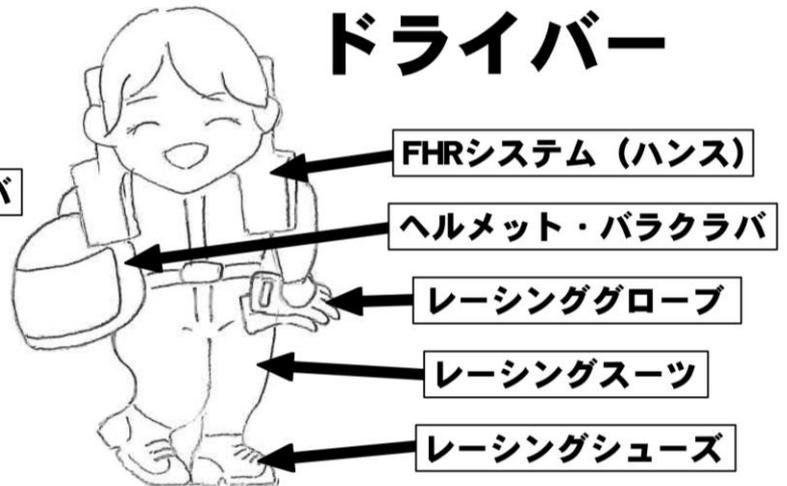
- ①車両ルールに合った安全な車両
- ②ドライバー全員の装備品  
ヘルメット・バラクラバ・レーシングスーツ・ハンス  
レーシングシューズ・レーシンググローブ
- ③給油マン/消火マンの装備品  
ヘルメット・バラクラバ・難燃繊維の服・グローブ
- ④携行缶
- ⑤3kg以上の消火器

### マシン

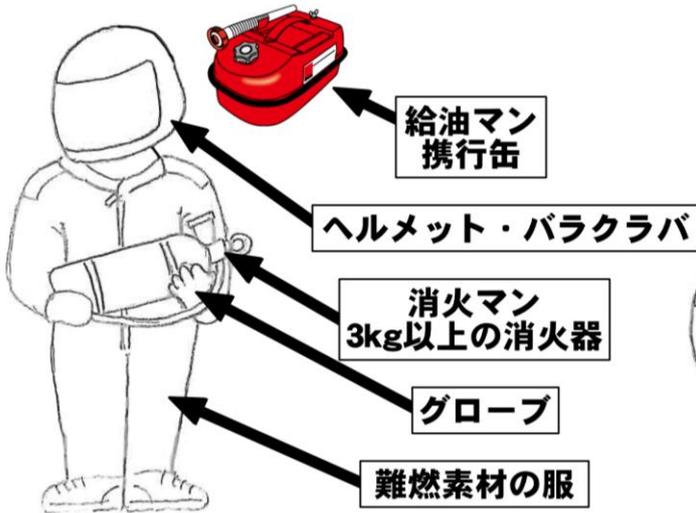
車両ルールに合った安全な車両



### ドライバー



### 給油マン・消火マン



## 17. ブリーフィング

イベント当日の走行する前の、ルールや安全に関する講習(ブリーフィング)を参加者全員が聞かなければいけません。遅刻や欠席をした場合は、ペナルティが与えられるので気を付けましょう。「聞いていなかった」「聞こえなかった」は通用しません。しっかり、聞きましょう!



## 18. 基本的な注意事項

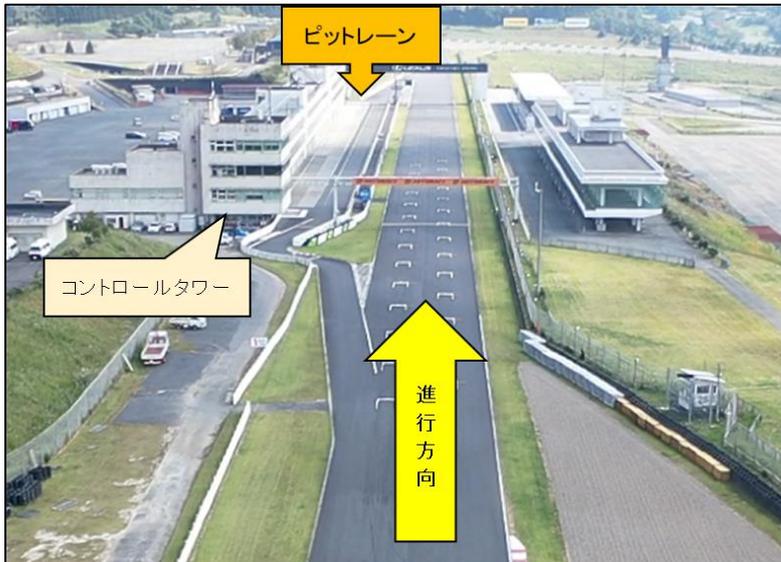
- ① モータースポーツは、れっきとしたスポーツですので、スポーツマンシップに則りルール・マナーは必ず守りましょう。守れない場合はご退場いただく場合がございます。  
イベント期間中は必ずオフィシャルの指示に従わなければいけません。
- ② 喫煙する場合は必ず喫煙所をお願いします。
- ③ 参加者同士、主催者、オフィシャルに対して名誉を傷つけるような言動をしてはいけません。皆さんでイベントを楽しみましょう。
- ④ 精神状態を狂わせるような薬品の使用や、飲酒は禁止です。必要に応じ、メディカルチェックを行うことがあります。
- ⑤ Aパドックへのペットの持ち込みは禁止です。
- ⑥ 16才未満の方の、ピットエリア<ピット前作業エリア・ピットレーン・サインエリア>への出入りは禁止です。
- ⑦ マスクの着用や、ソーシャルディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染防止に努めてください。

## 19. サーキットでの注意事項

**自身のミスによるクラッシュだけではなく他人のトラブルに巻き込まれ危険な思いをすることも少なくありません。走行に関わるすべての方のモラルと自覚ある行動が最大の安全対策となります。ルールとマナーの遵守および責任ある行動をお願い致します。**

**オートポリスは、進行方向の左側にピットレーン、コースインする際は右側に合流します。逆走禁止です！**

全国的には、進行方向の右側にピットレーンがあり、コースインする際は左側に合流するサーキットが多いです。間違えないように要注意！！



逆走は  
禁止です！



### ◎信号旗(フラッグ)

ポストからの信号旗(フラッグ)、信号灯(コーションランプ)によって合図が表示されます。

ポストから出されるフラッグを必ず確認してください。フラッグはドライバーに情報を伝える唯一の手段です。「旗の見落とし」「旗の意味が分からない」などないようにしましょう。

合図の無視・見落とし・認識不足は重大な事故につながりますので、各合図の意味を十分に理解し必ず見落としのないようにしてください。



## 20. 走行中の注意事項

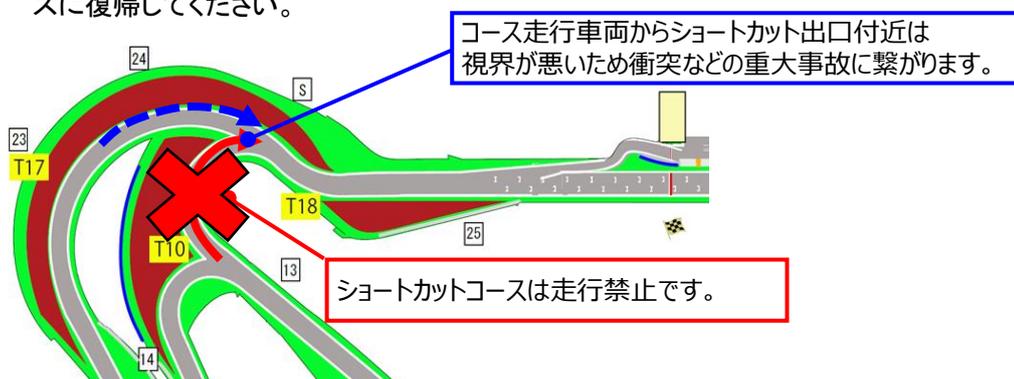
- ① コース内での接触(走行車両同士)、クラッシュはともに各自の自己責任となります。感情的に相手を非難したり、損害賠償を請求したりすることは出来ません。
- ② 走行中にご自身の車両からガソリンやオイルなどの液体漏れに気付いた場合は、ピットまで戻らずにコース外の安全な場所へ早急に車両を退出させてください。
- ③ いかなる場合も、コースおよびピットレーンを逆方向に走行してはいけません。
- ④ 緊急の場合、走行中に救急車、消火車、オフィシャル車、レッカー車などのサービス車両がコースを走行することや、作業を行うため停車する場合があります。また、オフィシャルがコースに立ち入る場合もありますので注意しましょう。
- ⑤ コースに沿って競技車両を押ししたり、押ししてコントロールラインを通過してはいけません。

## 21. コースアウトした場合

- ① 走行中にスピンやオーバーランなどでストップした場合は、落ち着いて再スタートを試みてください。再スタートができない場合や様々なトラブルによって走行できなくなった場合は、すぐに車両を降りて避難してください。
- ② 再スタートが可能な場合は、後方の安全を十分に確認しコースに復帰してください。グラベル(砂利エリア)を通過した場合はすぐにコースに復帰せず、グリーン(セーフティーゾーン)などを走行し、砂利などをおとしてからコースに復帰してください。
- ③ 車両を離れる際は、エンジンを停止しコースとは反対側へ避難してください。コースに背を向けずに後方(後続車)を確認しながらガードレールの外側、またはコンクリートウォールの上まで避難をしてください。ガードレールの外側に避難するまでは絶対にヘルメットは脱がないでください。避難した後は、ガードレールから離れて待機してください。 ※ステアリングを取り付け、ギヤはニュートラルの位置にした状態にしてください。
- ④ 避難完了後はレスキューが現場に到着するまで待機し、現場に到着したら指示に従ってください。

## 22. 車両トラブルが起きた場合

- ① 車両トラブルなどで低速走行をする場合は、コース左側を走行してください。  
※コース左側にライン変更する際は安全確認を行い、急激なライン変更を行わないでください。
- ② 進行方向左側にサービスロード(車両回収用通路)を設けております。トラブルなどで車両を停止させる場合は、出来る限り左側に停止してください。
- ③ ショートカットコースを使用し、13番ポスト先から最終コーナーへ出る行為は危険なため禁止となります。  
※車両トラブルなどのためショートカットコースに停車することは可能ですが、再スタートする際は進入した所からコースに復帰してください。



## 23. 決勝イベント中の車両回収(救済措置)

- ① コース内に車両が止まってしまうと通常のレースの際はリタイヤとなりますが、このイベントではコース左側に停車した場合、車両回収が行われ、修復後に再度コースインすることができます。これを「救済措置」と言います。コース右側に停車した場合は、救済措置ができない場合があります。詳細については、ルールブック 第9条をご確認ください。

# ★マジ耐ルールブック★

## 第1条 各種手数料(税込)

ドライバー登録遅延手数料: 11,000 円

ドライバー変更手数料: 5,000 円

ピットクルー変更手数料: 1,000 円

講習会期間外手数料: 5,000 円

トランスポンダー補償料: 71,500 円

腕章補償料: 2,200 円

クレデンシャルパス・車両通行証再発行手数料: 1 枚につき 3,300 円

再車検手数料: 22,000 円

## 第2条 クレデンシャルパス・車両通行証

1. クレデンシャルパスは、登録されたドライバー、ピットクルーに交付されます。交付されたクレデンシャルパスおよび車両通行証は常時、確認しやすい位置に必ず付けなければいけません。
2. 交付されたクレデンシャルパスや車両通行証は他に貸与または転売、偽装、販売してはいけません。違反した方については、参加資格の剥奪等の罰則が課せられます。
3. 指定の場所以外への駐車や、通行証を貼付せずにパドック内に駐車している場合、レッカー移動する場合がございます。
4. クレデンシャルパスや車両通行証を紛失、破損した場合はマジ耐事務局に再交付の手続きをとり、再交付を受けること。

## 第3条 車両搭載カメラ(車載カメラ)

1. 車載カメラの搭載を希望する場合、イベント期間の公式車検終了前までに車検場へ所定の車載カメラ申請書を、提出していただきます。
2. 車両に搭載できるビデオカメラは本体とレンズが別体式(CCD レンズ等)のものを強く推奨します。取付ステー等は車載カメラ使用時のみ取り付けが可能ですが、吸盤式の取り付けステーは使用不可とします。ワンボディータイプは、強固に取り付けてください。ヘルメットやスーツなどドライバー装備品への取り付けは禁止です。取り付けについては、技術委員の指示に従わなければいけません。なお、車検時には撮影を停止してください。
3. 撮影された映像は特別に認めない限り、個人観賞以外の目的で使用できません。撮影された映像をオートポリスが要求した場合、速やかに提出しなければいけません。

## 第4条 トランスポンダー(自動車番読取装置)

1. 自身の所有する、MY Laps 社製トランスポンダー(マイポンダー)を使用しなければいけません。ID をチーム編成登録時に申請してください。【お持ちでないチームの方にはレンタルがございます。】
2. トランスポンダーは、チームにつき 1 個用意してください。ドライバー毎のトランスポンダーの準備は必要ありません。
3. 自動車番読取装置(トランスポンダー;「MYLAPS」社製)の貸出しについては、チーム編成登録時にお申し込みください。3,000 円(税込)の貸出料金がかかりますので、ドライバー/ピットクルー登録料と合わせてにお支払いいただきます。
4. 主催者から借りたトランスポンダーの返却期限は、決勝イベント終了後 1 時間以内です。なお、紛失や破損等があった場合、主催者より第 1 条に記載の補償料が請求されます。

※MYLAPS 社製のトランスポンダーは、購入の他、サブスクリプション契約で1年からご契約いただけます。このマイポンダーがあれば、レースだけでなく、通常のスポーツ走行でもいつでも自身のタイムが計測・確認できるようになります。

※全国の国際コース等でも対応しております。

◆ご購入: MYLAPS 社 Web サイト【<https://www.mylaps.com/jp/>】

オートポリス場内コントロールタワー1 階受付でもご購入いただけます。

◆使用可能コース: MYLAPS 社 Web サイト内「Speed hive」でご確認いただけます。

## 第5条 装備品

1. 指定された装備品を使用すること。ドライバー間での共有を認めます。
  - ① ヘルメット《義務》
  - ② FHR システム(ハンス)《義務》
  - ③ レーシングスーツ(耐火炎レーシングスーツ)《義務》
  - ④ バラクラバ(目出し帽)(耐火炎バラクラバ)《義務》
  - ⑤ レーシングシューズ(耐火炎シューズ)《義務》
  - ⑥ レーシンググローブ(耐火炎グローブ)《義務》
  - ⑦ ソックス(耐火炎ソックス)《強く推奨》
  - ⑧ アンダーウェア(耐火炎アンダーウェア)《強く推奨》詳しくは P17 参加のしおり 装備品をご確認ください。

## 第6条 燃料規定

1. 参加車両がイベント期間中に使用できる燃料は、オートポリス内ガソリンスタンドで販売されているガソリンに限ります。
2. 燃料には添加剤やその他の気体・液体・固体を混入したり、オクタン価を高めたり、燃料の性質を変えるような装置を取り付けてはいけません。
3. 各チーム内容量 3kg 以上の消火器を必ず用意しなければいけません。

## 第7条 ブリーフィング

1. 安全にイベントに参加していただくため、イベント当日の朝に行うブリーフィングへの参加を義務付けします。ブリーフィングに遅刻、早退、欠席した場合、最大のペナルティとして出走できない場合もあります。

## 第8条 妨害行為

1. 走行中、ドライバーは他の車両の走行を妨害してはいけません。また明らかに重大な事故の発生が予測できる危険なドライブ行為を行ってはいけません。安全に楽しみましょう。
2. 前記の違反と判定された場合は、審査委員会が決定するペナルティが課されます。

## 第9条 救済措置

1. コース左側に停車した車両のみ、救済処置を受けることができます。
2. クラッシュまたはコース内に停止し、リペアエリアまでレッカー車にて戻り修理した場合、技術委員長(副技術委員長)の確認後、再スタートが可能です。
3. サービスロードは、オフィシャルの指示がある場合を除き、走行禁止です。

## 第10条 リペアエリア

1. 決勝イベント中に、救済措置が取られた車両の修復作業ができるエリアです。
2. このエリアは、イベント参加者以外立ち入り禁止です。
3. 工具類や部品は、自身のピットより持参してください。
4. リペアエリアでは、燃料給油の作業を行うことはできません。

## 第11条 ピットレーン

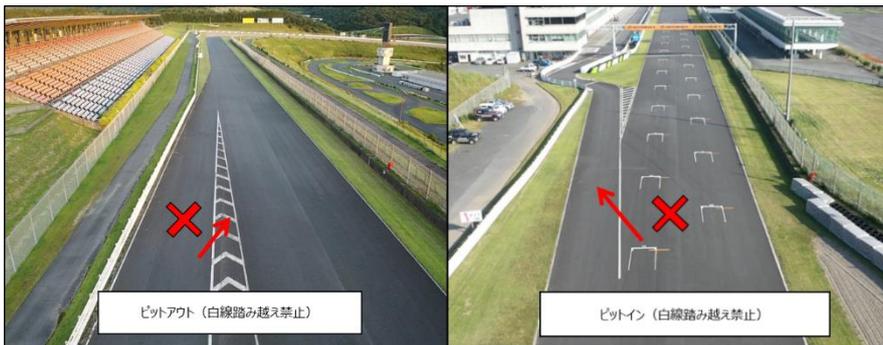
1. ピットレーンはピット作業エリア(コンクリート部分)と走行路(アスファルト部分)とに分けられ、走行路は白色実線と白色実線の間を「補助レーン」、ピットサインエリアと補助レーンの間を「ファストレーン」として区分します。ピットイン/ピットアウト車両はファストレーンを走行することを原則とし、決して補助レーンや作業エリアを走行してはいけません。



2. 車両およびドライバー、ピットクルー等は他の車両の通路および進路を妨害してはいけません。
3. 如何なる場合も後退ギヤを使用することは許されません。
4. ピットレーンの制限速度は 40km/h です。スピード違反には気を付けましょう。
5. 作業エリアに停止した車両はエンジンを停止しなければいけません。点検等のためにエンジンを始動する際は、オフィシャルの許可を得てください。
6. ピット前やピットサインエリアでは、傘等の風で飛ばされるものを身に付けてはいけません。
7. ピットエリア(作業エリアからサインエリアまでの場所)への、サンダルやヒールの高い履物での立ち入りは禁止です。

## 第12条 ピットインおよびピットアウト

1. ピットインする場合は、最終コーナー手前より走行ラインを左側にとり、安全を確認してピットインしなければいけません。
2. ピットアウト車両は、ファストレーンを走行中の車両に優先権があります。十分注意してファストレーンに合流してください。
3. ファストレーンを走行中の車両と並走してはいけません。
4. ピットアウト車両は、ピットレーン出口の信号灯に従い、コースインしなければいけません。  
 緑灯 =コースイン可  
 青灯点滅=メインストレート走行中の車両に注意しながら、コースイン可  
 赤灯 =コースイン不可
5. ピットインの際に自ピットを通り越した車両はエンジン停止後にオフィシャルの了承を得て、その指示に従って当該車両のピットクルーによって後ろ向きに押し戻し、自ピット作業エリアにつけることができます。
6. コースインする場合はメインストレート走行車両に優先権があります。
7. ピットレーン入口、出口の白線を踏み越えてはいけません。



## 第13条 ピットサインエリア

1. ピットサインエリアに入れるのは、ドライバーかピットクルーの登録をされた方のみです。
2. ピットサインエリアに出入りする際には車両に十分注意しながら、最短距離でファストレーンを横断すること。また、ファストレーン走行中の車両の妨げになってはいけません。
3. 決勝イベントのスタート時には、ピットサインエリアは立ち入り禁止です。全車のスタートが完了した後、入ることができます。
4. コンクリートウォールより高い踏み台を使用することは禁止します。
5. 飛ばされる可能性がある構造物・テントをピットサインエリアに設置する場合は、強固に固定されていること。またオフィシャルの指示があった場合、その指示に従わなければいけません。

## 第14条 無線機の使用

1. 無線機の使用は、携帯電話を含め禁止です。

## 第15条 ピットの使用について

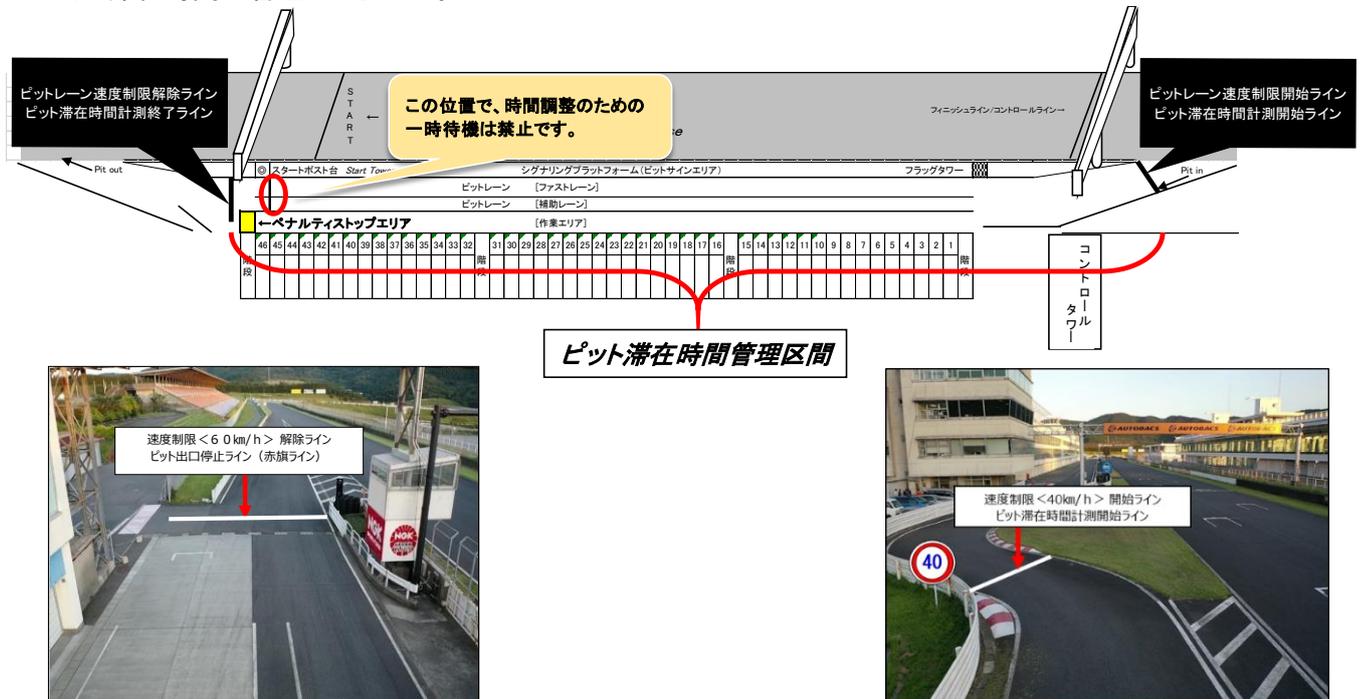
1. 1 ピットあたり可能な電気消費量は、20 アンペアです。20 アンペアの消費量以上を必要とする場合は各自で電源を用意してください。
2. ピットエリアにおける火気の使用は禁止です。

## 第16条 ピット作業

1. ピット作業とは、工具や部品等で、車両に対して手を加えること、およびドライバーの乗降行為のことを表します。
2. 決勝イベント中にピット作業を行う場合、自身のピット前作業エリアで行ってください。ただし、ピット作業が長引く場合は、オフィシャルに報告の上、ピットガレージ内で作業しても構いません。
3. 決勝イベント中は、ピットガレージのピットレーン側シャッターを閉めてはいけません。
4. ピット作業エリアにタイヤ、ジャッキ、工具類を事前配置してはいけません。作業終了後は、置いている部品・工具を片付けること。
5. タイヤ交換の際は、タイヤを平置き、または手で押さえる等配慮し、転がす、放り投げる等の危険な行為をしてはいけません。
6. ピットガレージ内での、火花を生じる恐れのある電動工具の使用は禁止です。作業エリアでも、火花を生じる恐れがあるとオフィシャルが判断した物は、使用ができません。

## 第17条 ピット滞在時間および腕章装着義務

1. ピット滞在時間の管理区間は、ピットレーン速度制限開始地点から、ピットレーン速度解除ラインまでです。滞在時間に満たない場合、満たない時間をペナルティストップとして課せられます。燃料給油を伴わないピットインの場合、ピット滞在時間の管理はしません。



2. 燃料給油を伴うピット滞在時間は 7 分です。ただし、チーム編成により滞在時間にハンデが与えられます。
  - ◎キングドライバーがいるチーム :-2 分
  - ◎シニアドライバーがいるチーム :-2 分
  - ◎ウーマンドライバーがいるチーム :-2 分
  - ◎マジ速ドライバーがいるチーム :+2 分
3. ピット滞在時間は各チームで管理してください。
4. 特別ハンデを与えられたドライバーは、走行中、左上腕部に指定の腕章を着用しなければいけません。腕章は参加受付時に配布します。
5. チェッカー時にピット滞在時間が足りない場合は、タイム加算します。

## 第18条 出走義務

1. 有利なハンディキャップが与えられたドライバー(キングドライバー/シニアドライバー/ウーマンドライバー)は必ず、1 度は出走してください。出走しない場合は、ペナルティがかけられます。その他のドライバーについての出走義務はありません。
2. チーム内にハンディキャップが与えられたドライバーが複数名いた場合は、その内の 1 名のみでの出走で条件はクリアとします。
3. 出走義務があるドライバーに交代する際は、オフィシャルに申告してください。

## 第19条 燃料給油について

1. 燃料給油する際は、必ずドライバー交代をしなければいけません。
2. 消防法に適合した金属製の 20L 以下の携行缶で事前の検査に合格したものに限り、使用可能です。
3. 携行缶が、車両給油口まで耐油性ホースを接続できる構造としてください。
4. 燃料給油用携行缶は、エア抜きバルブに関しての改造は認められますが、補給時燃料が漏れない構造である事を条件とします。
5. 燃料給油を行う場合は、チーム監督が事前にオフィシャルに必ず申告しその了承を得なければいけません。また、燃料給油に際してオフィシャルより指示がある場合はその指示に従いましょう。
6. 燃料給油中の作業エリアで許される人員は、以下の装備品を装着した最大3名までとします。装備は自分を守る大事な物です。必ず守ってください。
  - ◎燃料給油マン/消火マンの装備：  
難燃素材(綿 100%など)の服を着用してください。肌が露出するものは禁止です。(レーシングスーツ等が望ましい)グローブを装着し、シールド付きフルフェイスヘルメット又は、バラクラバにゴーグルを装着しなければいけません。(ドライバーの装備で可)
7. 給油中は、消火器をかまえた消火マンが発火に備えて車両近くに待機しなければいけません。給油中、その他の作業は一切禁止されます。
8. 燃料補給は次の手順・方法で行うこと。
  - ①エンジンを停止、サーキットブレーカー(カットオフ S/W)OFF  
ドライバー下車
  - ②アースを取り付ける。
  - ③消火器をかまえる
  - ④給油する(給油バルブを開けた後エア抜きバルブを開く事)
  - ⑤こぼれた燃料をふき取る
  - ⑥消火器をピットに格納する
9. 燃料給油に際して給油取り扱いが不適当と判定されたチームにはペナルティが課されます。
10. 燃料給油の際にこぼれた燃料は必ず拭き取らなければいけません。

## 第20条 決勝イベントスタート進行

1. 決勝イベントスタート方式は抽選により決定したグリッドに従い、ローリングスタート方式で行います。参加台数が多い場合、最大 3 グループに分けをする場合があります。
2. 指定された時間に、ピットレーンより手押しでグリッドに整列しなければいけません。
3. グリッドへ整列→フォーメーションラップ→ローリングスタートの流れで進行します。
  - ◇フォーメーションラップ開始 5 分前  
ドライバー、オフィシャル、メカニック以外はコース上から速やかに退出してください。
  - ◇フォーメーションラップ開始 3 分前  
ドライバー・ピットクルー 1 名・オフィシャル以外はコース上から退出してください。  
すべての作業は禁止されます。
  - ◇フォーメーションラップ開始 1 分前  
この時点でエンジンを始動します。エンジンが始動できないドライバーはオフィシャルおよび後方のドライバーに手を挙げ合図してください。その場合、オフィシャルが黄旗振動で他のドライバーにスタートができない車両がいることを伝えます。また、エンジン始動できない車両はオフィシャルの指示でピットに戻され、ピットスタートに加え、1 周回減算されます。
  - ◇フォーメーションラップ開始 15 秒前  
15 秒前ボードがスタートポストより提示されます。
  - ◇フォーメーションラップ開始  
スタートポストにて緑旗が振られます。スターティンググリッドの順位を保ちつつ発進してください。
4. フォーメーションラップ中、22 番ポスト両側から『GRID』ボードが提示されたら隊列を整えてください。
5. 先導車がピットイン後も、ポールポジション車両はそのままの車速を保ち全車を誘導し、スタート信号がレッドライトからグリーンライトに変わった時点でスタートです。スタートラインまでは追い越しは禁止です。
6. スタート合図前に加速することは禁止です。
7. フォーメーションラップは原則として 1 周としますが、フォーメーションラップ中に何らかの理由により、競技長がスタートできないと判断した場合、先導車は 2 周回以上先導する場合があります。その場合、フォーメーションラップが 2 周回目に入る時点から決勝イベント時間開始とします。

8. フォーメーションラップで出遅れてしまった車両  
それぞれのグループの車両がスタートラインを通過するまでに動き出した場合に限り、自己のポジションに戻るために他の車両を追い越すことが許されますが、それ以外は追い越しが禁止され、隊列の最後尾に着かなければいけません。複数の車両が該当する場合には、グリッドを離れた順に列の最後尾に着いてください。
9. 出来るだけ、慣れた方がスタートドライバーを務めてください。

## 第21条 スタート遅延

1. フォーメーションラップ開始直前に、降雨または何らかの理由で、スタートを遅らせる場合、スタートシグナルが黄色点滅し、「START DELAYED」ボードがスタートポストで提示されます。
2. 競技長は、走行上の安全が確保されないような降雨の場合、およびコース上が多量の水で覆われた場合は、状況が回復されるまでスタートを遅らせます。
3. 本条 1.の適用が必要となった場合は、第 24 条の決勝イベントの再開の手順に従い、行います。

## 第22条 セーフティカー

1. 事故の発生や、危険な状態だと競技長が判断した場合、ルーフにオレンジライトとグリーンライトを備えたセーフティカーが介入します。セーフティカー介入中の周回も、周回数としてカウントされます。
2. 手順は以下のとおり行われます。

### <セーフティカー介入>

- ◎セーフティカー介入が決定した場合、全ポストから黄旗の振動表示と「SC」ボードが提示されます。また、オレンジライトを点けたセーフティカーがレースの先頭車両の位置に関係なくトラック上に合流します。
- ◎すべての車両はセーフティカーを先頭に 1 列に整列しなければいけません。この際、追い越しは禁止です。
- ◎セーフティカー介入中に、ピットレーンへ進入し作業を行うことは可能ですが、コースに合流する際はピット出口の信号が緑灯になっていることを確認してください。

### <再開>

- ◎順位調整のためセーフティカーを追い越すよう指示された車両は、セーフティカーを追い越し、隊列の後方につけなければいけません。追い越しの指示をする際、セーフティカーはグリーンライトを点けます。先頭車両がセーフティカーの後方につき、残りの全車両がその後方に整列するまでセーフティカーは活動を続けます。
- ◎一度捉えた先頭車両がピットインした場合には、レースの状況を総合的に考慮し、競技長の裁量によりセーフティカーの直後を走行している車両を先頭車両とみなします。
- ◎競技長が次のスタート再開を決定した場合、セーフティカーは 14 ポスト先(ジェットコースターストレート中間地点)で、オレンジライトを消灯し、その周回でピットレーンに入ります。
- ◎セーフティカーがピットレーンに入り、車両がスタートラインに近づいた時点で、スタートポストから緑旗が振動表示されスタート信号は緑灯が点灯します。先頭車両がスタートラインを通過した時点で再スタートとします。スタートラインまでは、追い越しは禁止です。
- ◎レース終了時間の時点でもセーフティカーが介入している場合は、そのままチェッカーが振られます。

## 第23条 決勝イベントの中断

1. 天候等、やむを得ない事情によりイベントを中断する必要がある場合、全ポストで赤旗が提示されます。その際、ポストの赤灯を併用する場合があります。
2. 赤旗が提示された時点で、追い越しは禁止され、ピットレーン出口が閉鎖されます。
3. 先頭車両の位置に関わらず、赤旗ラインを先頭にコース上に一列で停止しなければいけません。
4. 赤旗提示中も、決勝イベント時間の計測は続いたままです。
5. メインストレート上のチーム員の入場が許され、ピットエリアに停車中の車も含め、燃料給油以外の作業ができます。
6. 赤旗が提示される前にピットレーンに進入していた車両へのペナルティはありません。また、燃料給油を含めた作業が認められ、ピット滞在時間の管理はしません。コース上の配列が整った後に(再開 5 分前頃)コースインすることができ、隊列の最後尾に配列されます。ただし、再開 5 分前のボードが提示された時点でピットレーンにいた車両に限られます。中断後にピットレーンへ進入した車両は、ピットスタートとなります。ピットスタートとなった車両が 2 台以上いた場合は、先にピットレーン出口に整列した車両順に決勝イベントを再開できます。

## 第24条 決勝イベントの再開

1. フォーメーションラップはなくなり、セーフティカースタートとなります。
2. スタート再開前に、5 分前、3 分前、1 分前および 30 秒前ボードを提示します。

#### ◇セーフティカースタート 5 分前

すべての作業は禁止されます。

5 分前ボード提示後、適切な時点で先頭車両と赤旗ラインの間にいる車両は、追い越することなく、もう 1 周回を完了するよう合図され、セーフティカー後方の車両列に合流しなければいけません。

中断前にピットエリアにいた車両は、5 分前の合図が出された時点でピットレーン出口に整列できた車両のみ、1 周回完了するよう指示された隊列の後ろにつくことができます。5 分前までにピットアウト出来なかった車両は、ピットスタートとなります。

#### ◇セーフティカースタート 3 分前

ドライバー、チーム員 1 名、オフィシャルを除き退出。

#### ◇セーフティカースタート 1 分前

エンジン始動。すべてのチーム員は、30 秒前ボードが提示される前にコース上から退出。エンジンが始動できないドライバーはオフィシャルおよび後方のドライバーに手を挙げ合図してください。その場合、オフィシャルが黄旗振動で他のドライバーにスタートができない車両がいることを伝えます。

#### ◇セーフティカースタート

◎スタートシグナルの緑灯が点灯し、セーフティカー先導のもと決勝イベントは再開します。グリーンライトが点灯すると、セーフティカーは後続のすべての車両とグリッドを離れます。その際には追い越しはせず、車両 5 台分の距離を保って走行してください。

◎隊列の最後尾がピットレーン終了地点を通過するとすぐに、ピットレーン出口の信号が緑灯に変わります。その際にピットエリアにいる車両は、ピットレーン出口に整列した順でコースインすることができます。セーフティカーは、原則 1 周回目でピットインしますが、何らかの理由により、セーフティカーは 2 周回以上先導する場合があります。

◎追い越しは、グリッドを離れる際に遅れてしまった車両の後ろの車両が、遅れた車両を追い越さないで後方の隊列を遅らせてしまう場合のみ許されます。

◎セーフティカーがピットレーンに入り、車両がスタートラインに近づいた時点で、スタートポストから緑旗が振動表示されます。先頭車両がスタートラインを通過した時点でセーフティカー解除とします。スタートラインまでは、追い越しは禁止です。

◎セーフティカー解除後のグリーンフラッグ提示後に、すべての作業が認められます。

#### ★グリッドを発つ際に出遅れた車両

最後尾の車両がスタートラインを通過するまでに動き出した場合に限り、自己のポジションに戻るために他の車両を追い越すことが許されますが、それ以外は追い越しが禁止され、隊列の最後尾に着かなければいけません。複数の車両が該当する場合には、グリッドを離れた順に列の最後尾に着いてください。

3. イベントが再開できなかった場合は、中断の合図が出された周回の 1 つ前の周回が終了した時点の結果が採用されます。
4. 再開の手順は、競技長の裁量により変更することができます。

### 第25条 決勝イベントの終了

1. スタート 5 時間後、または公式通知に示された時間が経過した時点で、先頭車両からチェッカーが振られます。
2. 原則、チェッカーフラッグは 5 分間提示されます。
3. チェッカー後は追い越し禁止です。
4. 先頭車両が決勝イベント終了時間に満たない場合にチェッカーフラッグが表示された場合は、その時点で決勝イベントは終了したものとみなします。また、チェッカーフラッグが遅れて表示された場合、決勝イベントは先頭車両が規定の走行時間(スタート遅延等で時間短縮された場合はその時間)を本来完了するべきであった時点で終了したものとみなされます。
5. ファイナルラップにピットインした場合でもピットレーン上のコントロールラインを通過すれば、チェッカーを受けたものします。
6. 走行を開始した時点で、当イベントは成立といたします。

### 第26条 順位認定

1. 順位認定は、コントロールライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。ただし、コース上でチェッカーを受ける車両の当該最終ラップタイムは 5 分以内を原則とする。5 分超過の場合、スロー走行と判断し順位認定されない場合がある。ピットレーン上のチェッカーに関するラップタイム制限時間はないが、チェッカーフラッグが表示されてから 5 分以内とする。
2. 順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数が多い車両から決定される。

3. グリッドについての車両は、すべて完走扱いとなります。
4. チェッカーを受けることのできない車両同士が同一周回数の場合は、グリッド順に順位を決めます。

## 第27条 イベント終了後の流れ

1. チェッカーを受けた車両は、コースを 1 周し、指定された場所に停車して、車両保管を受けなければいけません。また、車両保管解除の案内があるまで、車両に触れてはいけません。
2. 金メダル～銅メダルの車両と技術委員長が指定した車両は、イベント終了後に再車検を受けなければいけません。
3. 表彰式を行います。詳細につきましては別途公示いたします。

## 第28条 ペナルティ

1. イベント中に何らかの反則行為があった場合は、審査委員会がペナルティを決定し違反したチームに伝えられます。違反した人にかかるペナルティは主に以下の通りとしますが、状況に応じペナルティの追加をする場合があります。
  - ◎お叱り、奉仕活動、罰金、失格
  - ◎ドライブスルーペナルティ(D ボード)  
ドライバーはピットレーンに進入し、自ピットに停止せずに再びコースインしてください。
  - ◎ペナルティストップ  
ドライバーはピットレーンに進入し、ペナルティストップエリアに少なくともタイムペナルティとして課せられた時間、停車しなければいけません。この際、エンジンを止める必要はありません。停車後、コースインすることができます。ただし、自身のピットに停車してからペナルティストップエリアに行くことはできません。
2. ペナルティボード提示された時点から、ペナルティを履行できます。
3. ペナルティ表示後 3 周以内にレースが終了し規定通りにペナルティを履行できなかった場合、追加のペナルティが課されます。
4. 1 名のドライバーが失格となった場合、その車両の他の登録ドライバーも当該イベントへ参加はできません。車両の場合も同じです。

## 第29条 抗議

1. 参加者は、オフィシャルの判定やイベント運営に対する抗議を一切行うことができません。

## 第30条 公式通知の発行

1. ルールブックに記載されていない競技運営上の付則、参加者に対する指示、ルールブックの発表後に生じた指摘事項は公式通知によって公示されます。

## 第31条 ブルテンの発行

1. イベント主催者は年度途中においても、大会特別ルールについて見直しを行う場合があります。その内容は、マジ耐のブルテンで発表されます。  
オートポリス HP 内のマジ耐専用ページに掲載いたしますので、随時ご確認ください。
2. 公示されたブルテンは、公式な発行物となりますので、チーム員全員が必ず確認しなければいけません。

マジ耐ホームページ →



[https://autopolis.jp/ap/entry/event/kyushu\\_magical\\_endurance\\_game/](https://autopolis.jp/ap/entry/event/kyushu_magical_endurance_game/)

## 第32条 イベント中止時の返金

1. 天候等のやむを得ない理由により、主催者がイベントの開催ができないと判断した場合のご返金は、以下の通りとなります。

中止のタイミング	対応
日曜日の決勝イベントの走行前に中止となった場合	保険料を除いた料金のご返金
決勝イベントの走行開始から 2 時間に満たない場合	保険料を除いた料金の半額をご返金
決勝イベントの走行開始から 2 時間経過後	ご返金はいたしません



## ★車両ルール★



### 第1条 定義

オープンスポーツカーのデザインを取り入れ、モータースポーツ愛好家のために設計された4輪自動車です。車両の製造者は、より多くの人にレーシングカーを楽しんでもらうことを主旨として 開発し、決して性能競争に奔走してはいけません。認定された車両の基本デザインの変更はできません。この車両は主催者によって認定された、VITA-01 (Type-A、Type-B、Type-J)とし、本車輛を製造するウエストレーシングカーズ(株)の出荷時の状態を基本とします。なお、出荷時の状態が維持されているかの判断は、VITA-01純正パーツリストと認定車輛写真が用いられますが、判断が困難な場合はウエストレーシングカーズ(株)からの提言が採用されます。ただし、事前にウエストレーシングカーズ(株)が車両製造上で仕様変更を行なった場合はこの限りではありません。基本的には下記の項目で記載されていない箇所は加工および変更禁止とします。

### 第2条 材料規制

以下の材質の使用は禁止されます。  
マグネシウム・チタニウム・カーボン・アラミド繊維。

### 第3条 車両規則

#### エンジンおよび補機

1. エンジンはトヨタVitzRS(NCP13)に搭載されている1NZ(カムローラーロッカータイプを除く)を使用し、最大排気量は1500ccまでとします。エンジン内部および補機(エンジンが始動する為の総ての関連部品)は、下記の項目を除き改造も変更もしてはいけません。  
ただし、シャシーにエンジンを搭載するための最少限の変更は許されます。
2. スパークプラグは純正型番と同じねじ径・長さ寸法であれば変更可能ですが、スパークプラグの加工は禁止です。
3. サーモスタッドは自由です。
4. オイルフィルターは自由です。
5. エアフィルターの交換は自由とするが、純正エアフィルターボックスは加工および取り除き は禁止され、その吸入口から前方に伸びる吸入ホースは、左側ファイアーウォールまでとし、ファイアーウォールで開口されます。開口部はΦ80mm以下とします。  
ファイアーウォールより前方に伸びる吸入口は禁止です。(突き出しは最大15mmまで)
6. 燃料タンクからエンジンデリバリーパイプ間には燃圧変更装置の取り付けは禁止です。
7. クラッチディスクは材質の変更のみ認められます。
8. エンジンはオルタネーター【1.に取り付けられているもの】およびオルタネーターベルトを付けた状態とし、そのオルタネーターはエンジンが作動している状態では、いかなる場合でも 発電機能をさせた上で取り付けられていなければいけません。  
なお、オルタネーターベルトの変更は認められます。
9. シリンダーブロックはホーニングのみ認めますが、オーバーサイズピストンは認められません。
10. エキゾーストパイプは1次集合までは純正品を使用し、テーブルパイプは破損した場合に限り修復できますが、直管で寸法はΦ50mm～Φ75mmとします。(触媒部分は除く)
11. 触媒は純正品のものを使用してください。
12. ECUの一切の変更および改造は許されません。ECUに繋がるエンジンハーネスは、エンジン作動のための配線のみ変更が許されますが、ECUに繋がるエンジンハーネスは、純正の配線以外の使用は禁止です。
13. 水温センサーは変更できます。
14. 1.で規定されているトヨタVitz RS(NCP13)のエンジン以外で、ウエストレーシングカーズ(株)で新規に搭載されるトヨタエンジン(NCP131)、それに組み込まれるトランスミッションには、エンジンおよびトランスミッションが分解できないように封印がされます。封印のないエンジンおよびトランスミッションは使用できません。このエンジンにはウエストレーシングカーズ(株)で指定されたECUが加工取付されますが、その内部プログラムは固定され、変更・改造は禁止されます。純正エンジンハーネスは、専用ECU接続のため加工されていますが、これ以外に加工、外部からの接続などは禁止されます。NCP131封印エンジンにも前述の2,3,4,5,6,7,8,10,11は適用されます。ただし、13水温センサーの変更は禁止されます。エキゾースト周りにおける空燃費センサーの取り付けは禁止される。またNCP131封印エンジンのセンサー類はすべてウエストレーシングカーズ株式会社より出荷される状態からの変更や追加は禁止です。※封印エンジン・トランスミッションのリペア再使用についてはウエストレーシングカーズ株式会社で、レギュレーション・メーカー修理書に基づき厳格に整備・封印されたものについては使用可能です。

15.メーター類の変更は自由。

専用ECUから接続できるのは、指定されたCAN通信のみ可能です。

#### 第4条 車体と寸法

車両の最大長 4,000mm

車両の最大幅 1,700mm

ホイールベース 2,150 ~ 2,250mmの間とするフロントオーバーハング 800mm以下

リアオーバーハング 800mm以下

高さ 950mm(安全ロール構造体を除き地上から950mmを超えてはいけません)

1. ボディは排気パイプを除き、すべての機械的構成要素を覆わなければいけません。

2. ボディはホイール上の張り出し、少なくともホイールの円周の1/3にわたり効果的に覆いタイヤの幅も覆ってください。

#### 第5条 最低重量

最低重量は搭載エンジン型式により下記重量以上です。ドライバーを除き、燃料を満タンに入れた車両重量です。

1. NCP13 **545kg以上**

2. NCP131 **560kg以上**

再車検の対象となったチームは、燃料を持参してください。

#### 第6条 駆動

最大2輪とします。また、デフの形式はフリーデフのみです。

#### 第7条 ギアボックス

前進5段、後退1段を越えるものであってはいけません。

トヨタVitz RS(NCP13)のエンジンに装着されていた標準のギアボックスを使用してください。また、そのギアボックスの改造もしくは変更は許されません。標準のギアレシオは、下記のレシオです。

1速 .....3.166

2速 .....1.904

3速 .....1.392

4速 .....1.031

5速 .....0.815 最終減速比.....4.312

#### 第8条 後退ギア

すべての車両は競技会の出走時において作動可能な後退ギアを含むギアボックスを有さなければならない。また、着座したドライバーによって操作できるようにすること。

#### 第9条 運転席

ドライバーシートの変更は認められます。

#### 第10条 ホイール

1. 15インチ径のホイールを使用してください。リム幅は最大7.0インチまでです。

2. 材質は鉄またはアルミ軽合金とします。

#### 第11条 タイヤ

1. 使用できるタイヤは以下の指定タイヤに限られます。

2. タイヤに関する規定

銘柄: DUNLOP DIREZZA V01 「FOR VITA USE ONLY」

サイズ: 190/600R15

3. タイヤの使用本数制限はありません。

4. タイヤの裏組み(左右を逆に組みなおす)は禁止です。

5. タイヤウオーマー・タイヤの加工(溶剤の塗布など)は禁止です。

6. ハンドカット等によるタイヤの加工は禁止です。

## 第12条 競技車両番号(ゼッケン)

### 1. ゼッケン色

ゼッケンベースが車体と同色の場合、数字は反対色を使用してください。

### 2. サイズ

フロント・サイド 縦250mm 文字幅50mm以上

リア数字はこの限りではありません。

### 3. 貼り付け位置

計4か所 左右側面 フロント(リア)

### 4. 競技車両番号の判読が困難であり不適切であるとオフィシャルが判断した場合、修正が命じられます。従わない場合、イベント参加を拒否される場合があります。

## 第13条 サスペンション

サスペンション形式はアウトボード形式とし、コイルダンパーユニットの一方はフレーム側ピックアップに、他方はサスペンションアームに付く形式を言う。インボード形式やプッシュロッド形式は不可とします。

ダンパーおよびコイルスプリングの変更は自由です。

## 第14条 制動装置

同一のペダルによって操作される2系統の回路を有し、次の条件に合うものでなければいけません。ペダルは通常4輪を制御するもの。制動装置のパイプに漏れがある場合、もしくは制動伝達装置に何らかの欠陥がある場合でも、ペダルは少なくとも2輪を依然として制御するもの。

ブレーキパッドの変更は自由です。

## 第15条 赤色警告灯

12ワット(相当)以上の赤色警告灯2個と停止灯2個を後方から明瞭に見えるように取り付けること。赤色警告灯は競技長の指示により常時点灯できる構造でなければいけません。

## 第16条 燃料パイプ、タンク、ケーブルおよび電気装置

### 1. ライン/ケーブル/電気装置ライン、ケーブルおよび電気装置が、その取り付け位置/材質/連結方法等に関して航空機工業基準に準拠していない場合、次のことを生じるいかなる漏れもないよう取り付けられなければいけません。

- コクピット内の液体たまり
- コクピット内への液体の侵入
- 電気または電気装置と液体の接触

もし、ケーブルラインあるいは電気装置がコクピットを通過する、またはコクピット内に取り付けられている場合それらは防火材でかつ液体の侵入を防ぐ材料によって完全に覆われていなければいけません。

### 2. パイプライン

エンジンに常設されているパイプラインを除き、コクピットの外部にあるすべての燃料パイプラインは、最大作動温度135°Cで、41MPa(bar)の最低破壊圧力を有していなければいけません。

### 3. 燃料タンク

下記に従い、FIA公認の安全燃料タンク(FIA-FT3)の装着が義務付けられる。(参考: VITA部品番号 VITA-N-01-FT3)

(a) 最大容量20リットルまでのタンクを一個、なおコレクタータンクの使用は禁止です。

(b) 取付位置はシートバックと主要ロール構造体のバルクヘッドの間とします。

(c) タンク容量が変わるような加工は禁止です。

(d) 製造後5年を経過した燃料ブラダーの使用は禁止です。ただし、製造後5年を経過した燃料ブラダーを燃料ブラダーの製造者が検査を行い、再保証した場合については、更に2年間、当該燃料ブラダーを使用することが出来ますが、製造後7年を越えて使用することはできません。

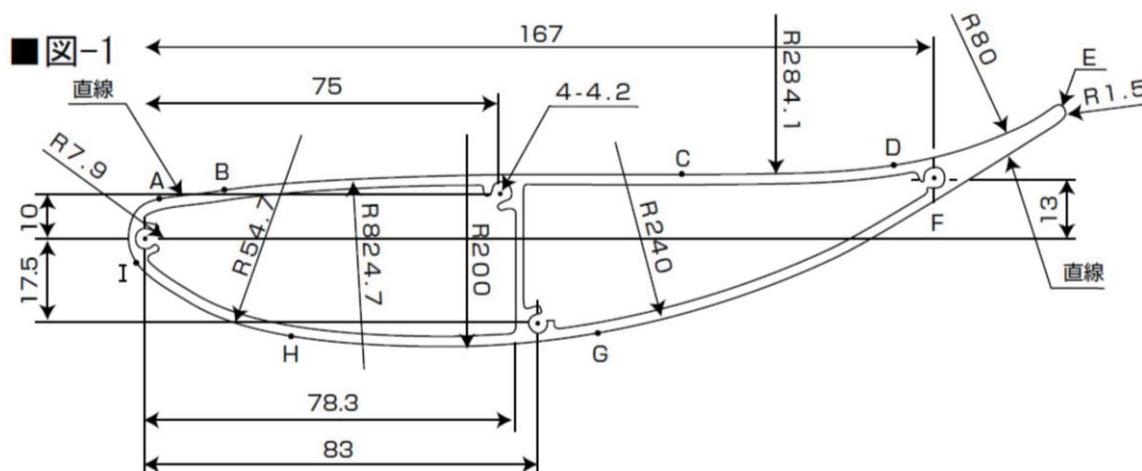
## 第17条 車体

### 1. シャシー構造体

#### 1) スペースフレーム構造を基本とします。

主要な構造体には外形32mm以上で肉厚1.6mm以上のパイプを使用しなければいけません。ドライバーの足部裏面からドライバー座席の背部までのコクピット内部断面積は1,140cm<sup>2</sup>以下であってはならず、また最小幅はコクピットの全長を通じ380mm以上で主要ロール構造体バルクヘッド部は680mm以上なければいけません。

- 2) フロントサスペンションピックアップは車体構造体の外部にあり、フロントバルクヘッドからピックアップ後部まではスペースフレームに厚さ1.6mmの鉄板を溶接で組み合わされた構造でなければいけません。
  - 3) スペースフレーム構造体両側面には補強として肉厚1.5mm以上のパネルを貼付けることができます。このパネルの最小引張強度は225N/mm<sup>2</sup>以上。
2. 側面防護体  
 ドライバーを保護するため、車両の両側に側面防護体を設けなければいけません。  
 側面防護体は車両の中心線から最小750mmのところ、高さ95mm以上、前後長さは第2ロール構造体の前端から燃料タンク後端までの間に、車体構造体と連結したボックス構造を備えてください。  
 この側面防護体は最小引張強度225N/mm<sup>2</sup>以上のパネルを使用した構造でなければいけません。
3. コックピット  
 コックピットはドライバーが脱出するために5秒以上を要しないよう設計されていなければいけません。コックピット開口部は、ステアリングホイールより後方600mmから前方において600mmの開口部が前後方向に300mm以上なければいけません。  
 コックピット前方にウインドスクリーンの取り付けは認められます。
4. 後方視界  
 車両には、ドライバーが後方を見るために少なくとも2つのミラーを装備してください。また、それぞれのミラーの最小幅は150mmで、少なくともそれが縦50mmにわたり維持されていなければならず、各コーナーの半径は10mmを超えてはいけません。  
 取付けてあるミラーの高さは、ミラー部分の上面が最低カウルから200mm以上なければいけません。
5. 空力装置  
 リアに取り付けられているウイングの翼断面は指定されます。(図-1参照) ウイングには、ガーニーフラップ等の付加物は禁止です。  
 リアウイング以外の空力付加物の取り付けは禁止です。



## 第18条 安全装置

1. 安全ベルト  
 2本の肩部ストラップ、1本の腰部ストラップ、および脚の間の2本のストラップからなる安全ベルトの着用が義務付けられます。これらのストラップはFIA基準8853/98、8854/98、8853-2016に合致していなければいけません。(ヘッドアンドネックサポート指定ベルトを除く)  
 ストラップの一部が切断したり、ほつれ、擦り切れている物は使用してはいけません。  
 安全ベルトは、ラベルに記載される有効期限を越えて使用してはいけません。
2. ヘッドレスト  
 すべての車両は後方へ833N(85kg)の荷重がかかった時に、50mm以上傾かないヘッドレストを備えていなければいけません。ヘッドレストの表面は20,000mm<sup>2</sup>以上で連続的であり、突き出した部分があつてはいけません。ドライバーの頭部を守る目的に限りロールバーの内部にヘッドレストおよび側面プロテクターの取り付けは許されます。この場合、プロテクターはロールバーからはみ出さないようにしてください。
3. 安全ロールバー
  - 1) ロールバー
    - (a) 安全構造の基本目的はドライバーの保護です。この目的は設計の基本考察です。

(b) すべての車両は、少なくとも2つのロールバー構造を装備しなければいけません。(チタニウム材の使用は禁止される)ロールバー構造体は外径35mm以上、肉厚2.0mm以上の冷間仕上継目無鋼管を使用してください。第1ロールバー構造体は、ステアリングホイールの前方にありステアリングホイール頂点の前方25cm以上にあってはいけません。また、少なくともステアリングホイールの周縁の頂点と同じ高さでなければいけません。第2ロールバー構造体は第1ロールバー構造体の後方から50cm以上離れていなければならない、またドライバーが正常に車両に着座し、ヘルメットをかぶりシートベルトを締めた状態のとき、そのドライバーのヘルメットは第1ロールバー構造体の頂点と第2ロールバー構造体の頂点を結ぶ線を超えてはいけません。座席の背部にある第2ロールバー構造体は、車両の縦の中心線にして左右対称であり、また次の項目に合致しなければいけません。最低高はコクピット底面から垂直に測定し、ロールバーの頂点までの間が少なくとも90cmなければいけません。ロールバーの頂点は通常の運転姿勢におけるドライバーのヘルメットから少なくとも5cm上方になければいけません。

## 2) 強度

ロールバーの構造の規格については、まったく自由であり、下記に示された最小強度に耐えうるものでなければいけません。

1.5W: 横方向

5.5W: 車両の前後方向

7.5W: 垂直方向 Wは600kgとする。

コンストラクター責任者またはその設計者によってサインされた証明書を競技会技術委員に提出しなければいけません。証明書には、このロールバーの図面または写真を付けるとともに、このロールバーが上記の荷重に耐えうることを明記しなければいけません。

## 3) 一般考察

ボルト、ナットを使用する場合にはその数に応じて十分な最小寸法を必要とする。その材質は最上級であること。(航空機用)

スクエアヘッドボルト、ナットは使用しないでください。

構造の主たる部分には継ぎ目のない1本の管を使用し、曲折部分は滑らかに連続的に曲げられており、ひだ、あるいは壁部に欠損がないこと。

溶接は全体にわたって最高の技術をもって行われるべきです。(通常はアーク溶接または特別の場合にはヘリアークが使われる)

スペースフレーム構造に開しロールバーの構造はそれにかかる荷重を広い面積に分散するように車両に取り付けられることが重要です。

ロールバーを単一の管あるいは継ぎ足された管に付着させるだけでは不十分です。

ロールバーはフレームの延長として設計されるべきで、単にフレームの付属として考えるべきではありません。

基本構造の強度には十分な考慮が払われるべきです。例えば荷重を分散させるため補強バーあるいはプレートを付加してください。

## 4. 燃料タンクの注入キャップ

1) 燃料入口とキャップは車体より突き出してはいけません。

衝突の際および不完全なロックによりキャップがゆるまぬように設計されていなければいけません。

2) 空気孔はコクピットの後方15cm以上の場所に位置すること。

3) 給油時のオーバーフローガソリンはコクピット内に流入しない構造であること。

## 5. 消火装置

すべての車両は、内容量2kg以上の粉末消火器、または、FIA国際競技規則付則J項第253条7項に記された消火器を、ドライバーが速やかに操作できるようにしなければいけません。金属製 ストラップの付いたラピッドリリースメタル(ワンタッチ金具)の装着のみ認められます。

(最低2箇所に装着することが推奨される)

記載事項

以下の情報を消火器に明記しなければいけません。

a) 容器の容量

b) 消火剤の種類

c) 消火剤の容量もしくは重量

d) 消火器の点検日(消火器の有効期限は、充填した日もしくは前回点検日から2年とする)

## 6. ステアリングホイール

ステアリングに切れ目があってははいけません。

スイッチやメーター等を装着する場合は、それらが突起した形状(トグルスイッチ等)であってはならず、トグルスイッチ以外のスイッチやメーターを装備する場合は、ドライバーと対面するステアリングホイールリム全体で形成される平面よりもドライバーに近いところに位置してはいけません。

緩衝パッドの装着を推奨します。

ステアリングホイールの変更は自由です。

## 7. 電気回路開閉装置(サーキットブレーカー)

すべての回路を遮断できる電気回路開閉装置(サーキットブレーカー)を取り付け、その取り付け位置には赤色のスパークを底辺が最小10cmの青色の三角形で囲んだ記号で表示し、外部からでも容易に操作できるようにしてください。

## 8. オイルキャッチ装置

エンジンから外に出るオイルを集めるためにタンクもしくは装置を装着しなければいけません。この装置は最小限2リットルの容量を有するものでなければいけません。この容器は外観よりオイル量が確認できるポリ容器か、透明なプラスチック製であるか、透明な窓枠を備えてください。ミッションケースにより後方に位置してはいけません。

## 9. 防火装置

全ての車両は出火の際、火炎の直接の噴出を防止するためのエンジンと運転席の間に有効な防護壁を設けなければいけません。

## 10. 触媒装置および消音器

触媒装置の装着を義務付け、消音器の装着を推奨します。

## 11. 排気音量

2022年のJAF国内競技車両規則517ページに示された「レース車両の排気音量規制」の検査方法に準じて、排気音量規定値は最大で105dB(A)以下とします。

## 12. その他

技術委員長によって安全でないと判断された車両は競技に参加できません。

## 第19条 データロガー搭載およびデータの開示

指定されたポータブルタイプのデータロガーを搭載するように指示された場合は、その搭載されたデータロガーの決勝レース中のデータは、VITAクラス参加者に開示しなければいけません。

## ●保険について

・転倒・事故により負傷した場合、必ずオートポリス メディカルセンターにて当日中に診察を受け、記録を残してください。この記録がない場合、保険の適用を受けることができません。また、急性心不全、脳内出血などの突然死の場合は保険金が支払われません。

◎保険の対象者 : イベントに参加のドライバー

傷害内容	傷害保険金額		
	中学生以下	大人	65歳以上
死亡	2,000万円	2,000万円	600万円
後遺障害	3,000万円	3,000万円	900万円
入院	4,000円	4,000円	1,800円
通院	1,500円	1,500円	1,000円

## ◎補償内容

※死亡・後遺障害、または負傷による入院・通院をされた場合、規定に沿って保険料が給付されます。

詳しくは公益財団法人スポーツ安全協会 Web をご覧ください。URL:<http://www.sportsanzen.org/>

2022年2月10日 発行

**主催**

株式会社オートポリス

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8

TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113

**AUTOPOLIS**  
INTERNATIONAL  
RACING COURSE

